

IBM System x IBM ToolsCenter Suite ユーザーズ・ガイド

バージョン 9.30



IBM System x IBM ToolsCenter Suite ユーザーズ・ガイド

バージョン 9.30

お願い ―

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、77ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、ToolsCenter Suite のバージョン 9.30、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

- 原典: IBM System x IBM ToolsCenter Suite User's Guide Version 9.30
- 発行: 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 担当: トランスレーション・サービス・センター
- © Copyright IBM Corporation 2012.

目次

本書について	V
規則および用語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. v
資料および関連情報	vi
Web リソース	vii
ご意見の送付方法	viii
本リリースでの新機能........	ix
第1章技術的概要	1 . 2
第 2 章 ToolsCenter Suite サポート・リ	
7	3
ハードウェアお上びリフトウェアのサポート・リスト	2
サポートされているハードウェア	2
サポートされているパートウェア	. J 4
サポートされているオペレーティング・システム	. 4
第 3 章 IBM ToolsCenter Suite のダウ	
ンロード	7
IBM ToolsCenter Suite のダウンロード手順	-7
	• •
第4章 IBM ToolsCenter Suite の使用	9
IBM ToolsCenter Suite の開始	. 9
IBM ToolsCenter Suite メニュー	10
	14
「更新」機能の使用	12
「更新」機能の使用	12 15 17
「更新」機能の使用	12 15 17 23

「構成」機能の使用								. 33
よく使用する設定								. 35
アクション								. 44
フル設定								. 47
「システム情報」機能	の	使月	刊					. 57
ライト・パス状況								. 58
イベント・ログ情幸	侵							. 59
フル・システム情幸	長の	収	集					. 61
IBM ToolsCenter Suite	ラ	アア	1)	V				. 67

第5章 トラブルシューティングおよびサ

ポート・								. 69
既知の制限								 . 69
回避策								 . 69
注意...								 . 70
ヘルプおよび	技術	援助の	の入手	£.				 . 71
連絡する前	前に.							 . 71
資料の使用	月.							 . 72
ヘルプおよ	トび情	報を	WW	Wカ	ら入	手す	る	 . 72
ソフトウコ	ェアの	サー	ビス	およて	バサポ	ート	• •	 . 72
ハードウュ	Lアの	サー	ビス	およて	バサポ	ート	• .	 . 73

付録. IBM ToolsCenter

SuiteTo	olsC	Cei	nte	er	Sι	iite	e (のフ	アク	7 t	zシ	ビ	゙リ		
ティー機	賤能	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	75
特記事項	Į.	•	•			•		•		•		•	•	•	77
索引.															81

本書について

本書では、IBM[®] ToolsCenter Suite をダウンロードして使用する方法について説明 します。

規則および用語

本書でコマンドを入力するよう指示された場合は、コマンドを入力してから Enter を押します。

以下の特記事項では重要な情報を強調表示します。

注: これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。

重要: これらの特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報 またはアドバイスを提供します。また、これらの特記事項は、プログラム、デバイ ス、またはデータへの考えられる損傷を示します。損傷が起こりうる指示または状 態の前には警告通知が表示されます。

次の表は、「IBM ToolsCenter Suite ユーザーズ・ガイド」およびグラフィカル・ユ ーザー・インターフェースで一般的に使用される頭字語の説明です。

頭字語	定義
BIOS	基本入出力システム
CNA	Converged Network Adapter
DIMM	デュアル・インライン・メモリー・モジュー
	<i>I</i> ℓ
FoD	Features on Demand
FTP	ファイル転送プロトコル
НВА	ホスト・バス・アダプター
НТТР	Hypertext Transfer Protocol
iSCSI	Internet Small Computer System Interface
IPMI	Intelligent Platform Management Interface
IPMI SEL	Intelligent Platform Management Interface
	System Event Log
IMM	統合管理モジュール
KCS	Keyboard Controller StyleKeyboard
KMS	Key Management System
LED	発光ダイオード
MAC	メディア・アクセス制御
PCIE	Peripheral Component Interconnect Express
PXE	Preboot Execute Environment

表 1. 頭字語

表 1. 頭字語 (続き)

頭字語	定義
uEFI	Unified Extensible Firmware Interface
UTF8	8 ビット Unicode Transformation Format
	(8-bit Unicode Transformation Format)
UXSP	UpdateXpress システム・パック
VPD	重要プロダクト・データ
WoL	Wake on LAN

資料および関連情報

IBM ToolsCenter for System x[®] and BladeCenter[®] インフォメーション・センターに ある IBM ToolsCenter Suite の一連のトピックで、PDF 文書と同じ内容を表示する ことができます。PDF ファイルを表示するには、Adobe Acrobat Reader が必要で す。これは、Adobe Web サイト (www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html) から 無料でダウンロードできます。

インフォメーション・センターおよびトピック・コレクション

• IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter インフォメーション・センター

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/index.jsp

IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter インフォメーション・センター は、ToolsCenter Suite を含む複数の IBM Systems x および BladeCenter ツールに ついて、統合された情報を提供します。

• IBM ToolsCenter Suite

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/topic/itsc/itcs_main.html

ToolsCenter Suite の一連のトピックでは、ToolsCenter Suite をダウンロードして 使用し、システム・ヘルス、インベントリーおよびその他の情報の収集と診断、 サーバーのよく使用する設定およびフル設定の構成のほか、サーバーのファーム ウェアとドライバーの更新を行う方法について説明しています。

資料

• ユーザーズ・ガイド

この資料では、IBM ToolsCenter Suite をダウンロードして使用し、システム情報 の収集、ファームウェア設定の構成、およびファームウェアの更新を行う方法に ついて説明しています。

• README

この資料では、IBM ToolsCenter Suite のダウンロード情報、制限事項、および回 避策について説明しています。

Web リソース

ToolsCenter Suite には、以下の Web サイトおよびインフォメーション・センター のトピックが関連しています。

Web サイト

• IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter

www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER &brandind=5000016

この Web サイトは、IBM System x製品および IBM BladeCenter製品をサポート するツールをダウンロードする場合に表示します。

• IBM ToolsCenter Suite

http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=TOOL-TCSUITE

この Web サイトは、IBM ToolsCenter Suite のツールおよび文書をダウンロード する場合に表示します。

• IBM PureSystems Redbooks®

http://www.redbooks.ibm.com/portals/puresystems/

この Web サイトは、IBM Flex System に関する発行済みの Redbook を検索する 場合に表示します。

・ 「IBM System x Features on Demand の使用法」Redbook

http://www.redbooks.ibm.com/abstracts/redp4895.html?Open

この Web サイトは、資料「*IBM System x Features on Demand の使用法*」をダウンロードする場合に表示します。

• IBM Flex Systems インフォメーション・センター

http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/ Overview?brandind=Hardware~Systems~System_x

この「IBM Flex System インフォメーション・センター」ページは、IBM Flex System x440 コンピュート・ノードのタイプ 7917 およびタイプ 2584 に関する 追加情報を入手する場合に表示します。

• IBM BladeCenter のサポート

www-304.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/brandmain?brandind=5000020

この Web サイトは、オンライン技術サポート、ダウンロード、およびドライバーに関する情報や RETAIN[®] のヒントを検索したり、IBM BladeCenter 製品に関するフィードバックを提供したりする場合に表示します。

• IBM System x のサポート

http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/ Overview?brandind=Hardware~System_x この Web サイトは、オンライン技術サポート、ダウンロード、およびドライバーに関する情報や RETAIN のヒントを検索したり、IBM System x 製品に関するフィードバックを提供したりする場合に表示します。

• IBM ServerProven[®]

www.ibm.com/servers/eserver/serverproven/compat/us/

この Web サイトは、IBM System xシステムおよび IBM BladeCenterシステムと IBM アプリケーションおよびミドルウェアとのハードウェアの互換性について情報を入手する場合に表示します。

フォーラム

• IBM System x フォーラム

www.ibm.com/developerworks/forums/forum.jspa?forumID=740

ibm.com[®] にあるこの Web サイトは、IBM System x のハードウェア製品および ソフトウェア製品に関するテクノロジー関連の問題および製品関連の問題につい て話し合うために使用できる各種フォーラムについて情報を入手する場合に表示 します。この Web サイトには、RSS フィードを使用してフォーラムを取得する ためのリンクも組み込まれています。

• IBM BladeCenter フォーラム

www.ibm.com/developerworks/forums/forum.jspa?forumID=819

ibm.com にあるこの Web サイトは、IBM BladeCenter のハードウェア製品およ びソフトウェア製品に関するテクノロジー関連の問題および製品関連の問題につ いて話し合うために使用できる各種フォーラムについて情報を入手する場合に表 示します。この Web サイトには、RSS フィードを使用してフォーラムにアクセ スするためのリンクも組み込まれています。

ご意見の送付方法

IBM にお客様のご意見をお寄せください。

本資料またはその他の IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter 資料に関す るご意見やご感想をお持ちの場合:

 IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter インフォメーション・センター インフォメーション・センター Web サイト (http://publib.boulder.ibm.com/ infocenter/toolsctr/v1r0/index.jsp) にアクセスします。フィードバック・ページがあ るので、そこにご意見やご感想を記入し、送信してください。

本リリースでの新機能

IBM ToolsCenter Suite 9.30 には、前リリース 9.22 以降の機能拡張が多数用意されています。

新規システム・サポート

IBM ToolsCenter Suite 9.30により、以下のハードウェアがサポートされるようになりました。

• IBM System x 3300 M4 (7382)

ハードウェアの詳しいサポート情報については、3ページの『サポートされている ハードウェア』を参照してください。

新規オペレーティング・システム・サポート

IBM ToolsCenter Suite 9.30 により、以下のオペレーティング・システムがサポート されるようになりました。

- Microsoft Windows Server 2012
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 Server (x86 & x64) Edition

オペレーティング・システムの詳しいサポート情報については、4ページの『サポ ートされているオペレーティング・システム』を参照してください。

新規サーバー・オプション・サポート

なし。

修正された問題

IBM ToolsCenter Suite 9.30 では、以下の問題が修正されました。

- Configuration 機能の「Full Settings」オプションで、
 DevicesandIOPorts.SetOptionROMExecutionOrder 値を設定できない。
- Configuration 機能内の「System Contact of Frequently Used Settings」の下で、
 RoomID の値が NULL の場合に、RoomID テキスト入力ボックスが表示されない。

機能拡張

IBM ToolsCenter Suite 9.30ソフトウェアの追加言語に追加されたサポートは、以下のとおりです。

- ブラジル・ポルトガル語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 中国語 (簡体字)
- 韓国語

- スペイン語
- 中国語 (繁体字)

「IBM ToolsCenter Suite 9.30ユーザーズ・ガイド」、Readme、および Change History の追加言語に追加されたサポートは、以下のとおりです。

- ブラジル・ポルトガル語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 中国語 (簡体字)

既知の制限

IBM ToolsCenter Suite 9.30 には、以下の新しい制限があります。

Windows 64 ビット・オペレーティング・システム

すべての Windows 64 ビット・オペレーティング・システムで、生データ を入手すると、Windows OS に関する論理装置テーブル情報が失われます。

「Full Settings」オプション

「Full Settings」オプションで、Power.PowerPerformenceBias の値を変更した場合、設定変更が正常に行われなくても、エラー・メッセージは報告されません。

回避策

一部の Windows オペレーティング・システムで IE を使用中に、Local ファイルからアクティベーション・キーをインストールする際にアクティベーション・キーのインストール進行中のページはありません。
 回避策:

山延束:

- Windows 2012 では、「サーバー マネージャ」 > 「ローカル サーバー」の下で、「IE セキュリティ強化の構成」をオフにします。
- Windows 2008 では、「Windows サーバー マネージャ」 > 「IE セキュ リティ強化の構成」の下で、現行ユーザーについて「Internet Explore セ キュリティ強化構成」をオフにします。
- Windows 2003 では、「スタート」メニューから「コントロール パネル」を開きます。「プログラムの追加と削除」をクリックし、次に、「Windows コンポーネントの追加/削除」をクリックします。「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」オプションを選択解除して、「次へ」をクリックします。Windows により、このコンポーネントがアンインストールされます。

注意

Internet Explorer v10 (IE10) では、パスワード入力フィールドに目のアイコンが付く ようになりました。目のアイコンを使用して、パスワード情報を読み取ることがで きます。これは、IE 10 の新しい機能です。

依存関係

なし。

第1章 技術的概要

IBM ToolsCenter Suite は、ご使用の IBM System x、IBM BladeCenter、および IBM Flex System環境の管理に役立つ一連のサーバー管理ツールです。

ToolsCenter Suite の主な機能は、以下の 3 つです。

System Information:

System Information 機能は、完全なシステム情報を収集し、この情報をカタ ログに入れ、収集された情報を IBM サポート・チームまたは顧客のサイト FTP サーバーに送信できるようにします。この機能は、IPMI SEL ログおよ び Light-Path 情報を含むシステム・ヘルス状況も提供します。

ToolsCenter Suite は、システムの以下の側面に関する完全なシステム情報を 収集します。

- ハードウェア
- ソフトウェア (オペレーティング・システムを含む)
- ・ログ
- 基本分析および特長

Configuration:

Configuration 機能は、ファームウェア設定を変更できるようにします。 Frequently Used Settings (よく使用する設定)を変更したり、Full Settings (フル設定)で個別の構成を変更したりすることができます。

よく使用する設定:

- ブート順序
- IMM ユーザー・アカウント
- アクティベーション・キー管理 (Features on Demand 対応)
- システム・コンタクト
- エネルギーおよびパフォーマンス

フル設定:

- SYSTEM_PROD_DATA
- IMM
- iSCSI
- uEFI
- ネットワーク
- BootOrder
- PXE

Update:

Update 機能は、IBM Web サイトまたはローカル・リポジトリーに接続する ことによって UpdateXpress System Pack のファームウェアとドライバー、 および個々のファームウェアとドライバーを更新できるようにします。更新 には、次の 3 つの方式があります。

- 推奨更新
- 個別の更新
- 更新のダウンロード

前提条件

ToolsCenter Suite では、以下の前提条件が必要です。

- ToolsCenter Suite を使用するための管理者特権または root と同等のオペレーティ ング・システム特権を持っている必要があります。
- IBM Web サイトから更新をダウンロードしたり、収集したシステム情報ファイ ルを IBM Web サイトまたは顧客のサイト FTP サーバーに送信したりするの に、インターネット接続が必要です。
- ToolsCenter Suite がサポートするブラウザー。サポートされるブラウザーの完全 リストについては、「*IBM ToolsCenter Suite* ユーザーズ・ガイド」の『Support web browsers』のトピックをご覧ください。
- ToolsCenter Suite が正しく機能していることを確認するために、ご使用のブラウ ザー設定で JavaScript と CSS が使用可能になっていることを確認してください。
- ToolsCenter Suite を Windows Server 2003 で実行したい場合、IPMI KCS ドライ バーをインストールする必要があります。これをインストールしないと、LED 状 況やイベントなどの重要な情報が欠落するため、多くの機能が働きません。

第2章 ToolsCenter Suite サポート・リスト

ToolsCenter Suite の使用を開始する前に、ハードウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムのサポートのセクションを検討してください。

ハードウェアおよびソフトウェアのサポート・リスト

ToolsCenter Suite には、固有のハードウェア、オペレーティング・システム、およ びブラウザーのサポート・リストがあります。ToolsCenter Suite をリストにないサ ーバー、ブラウザー、またはオペレーティング・システムで実行する場合、機能す る保証はありませんので、お客様の責任でご使用ください。

サポートされているハードウェア

IBM ToolsCenter Suite は、表 1 にリストされている IBM システムをサポートしています。

表 2. サポートされている IBM システム

サーバー	マシン・タイプ
IBM BladeCenter HS22	7870, 1936, 7809, 1911
IBM BladeCenter HS22V	7871, 1949
IBM BladeCenter HS23	7875, 1929
IBM BladeCenter HS23E	8038, 8039
IBM BladeCenter HX5	1909, 1910, 7872, 7873
Flex System x220 Compute Node	7906, 2585
Flex System x240 Compute Node	8737, 8738, 7863
Flex System x440 Compute Node	7917
System x iDataPlex [®] Direct Water Cooled	7918, 7919
dx360 M4 サーバー	
IBM System x iDataPlex dx360 M2 サーバー	7321, 6380, 7323
IBM System x iDataPlex dx360 M3	6391
IBM System x iDataPlex dx360 M4	7912, 7913
IBM System x 3100 M4	2582
IBM System x 3200 M3	7327, 7328
IBM System x 3250 M3	4251, 4252, 4261
IBM System x 3250 M4	2583
IBM System x3300 M4	7382
IBM System x 3400 M2	7836, 7837
IBM System x 3400 M3	7378, 7379
IBM System x 3500 M2	7839
IBM System x 3500 M3	7380
IBM System x3500 M4	7383
IBM System x3530 M4	7160

表 2. サポートされている IBM システム (続き)

サーバー	マシン・タイプ
IBM System x 3550 M2	7946, 4198
IBM System x 3550 M3	7944, 4254
IBM System x3550 M4	7914
IBM System x 3620 M3	7376
IBM System x 3630 M3	7377
IBM System x3630 M4	7158
IBM System x 3650 M2	7947, 4199
IBM System x 3650 M3	7945, 4255, 5454
IBM System x3650 M4	7915
IBM System x 3690 X5	7147, 7192
IBM System x 3690 X5	7148, 7149
IBM System x3750 M4	8722, 8733
IBM System x3850 X5 および x3950 X5	7143, 7191
IBM System x3850 X5 および x3950 X5	7145, 7146

サポートされているソフトウェア

このトピックでは、ToolsCenter Suite 用にサポートされているソフトウェアおよび Web ブラウザーについて説明します。

サポートされている Web ブラウザー

ToolsCenter Suite で収集された情報を表示するには、以下のいずれかの Web ブラ ウザーを使用する必要があります。

- Firefox 3.6 以降
- Google Chrome 19.0 以降
- Internet Explorer 8.0 Service Pack 1 以降

ToolsCenter Suite は、OS のデフォルト・ブラウザーを使用します。ブラウザー構成 を使用して特定のブラウザーを使用する場合は、それをデフォルト・ブラウザーと して構成してください。

サポートされているオペレーティング・システム

このセクションの情報を使用して、ToolsCenter Suite 用にサポートされているオペレーティング・システムを識別します。

Windows

ToolsCenter Suite は、以下の Windows オペレーティング・システムをサポートしています。

Windows Server 2012 Edition

• Microsoft Windows Server 2012

Windows Server 2011 Edition

- Microsoft Windows Small Business Server 2011
- · Microsoft Windows Small Business Server 2011 Essentials

Windows Server 2008 Edition

- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1
- Microsoft Windows Server 2008 R2 HPC Edition (x64, Reseller Option Kit)
- Microsoft Windows Server 2008 Datacenter Edition (x86, x64)
- Microsoft Windows Server 2008 Enterprise Edition (x86, x64)
- Microsoft Windows Server 2008 Foundation
- Microsoft Windows Server 2008 HPC Edition
- Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition (x86, x64)
- Microsoft Windows Server 2008 Web Edition (x86, x64)
- Windows Essential Business Server 2008 Premium Edition
- · Windows Essential Business Server 2008 Standard Edition

Windows Server 2003 Edition

- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Datacenter Edition (x86, x64)
- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Enterprise Edition (x86, x64)
- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Enterprise Edition with Microsoft Cluster Service (MSCS) (x86, x64)
- MicrosoftWindows Server 2003 Enterprise Edition with Microsoft Cluster Service (MSCS) (x86, x64)
- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Standard Edition (x86, x64)
- Microsoft Windows Server 2003 Web Edition

Linux

ToolsCenter Suite は、以下の Linux オペレーティング・システムをサポートしています。

Red Hat

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5 Server (x86 & x64) Edition (U6 まで)
- Red Hat Enterprise Linux 5 Server with Xen (x86 & x64) Edition (U6 まで)
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 8 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 8 Server with Xen (x86 & x64) Edition
- Red Had Enterprise Linux 5 Update 7 Server (x86 & x64) Edition
- Red Had Enterprise Linux 5 Update 7 Server with Xen (x86 & x64) Edition

SUSE

- SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86 & x64) SP2
- SUSE Linux Enterprise Server 11 with Xen (x86 & x64) SP2
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86 & x64) (SP1 まで)
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 with Xen (x86 & x64) (SP1 まで)
- SUSE Linux Enterprise Real Time 10 AMD64/EM64T

- SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86 & x64) (SP4 まで)
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 10 with Xen (x86 & x64) (SP4 まで)

第3章 IBM ToolsCenter Suite のダウンロード

このセクションでは、ToolsCenter Suite のダウンロードについて説明します。

IBM ToolsCenter Suite のダウンロード手順

ToolsCenter Suite は、インストールする必要がない自己解凍型アプリケーションです。

このタスクについて

ToolsCenter Suite は IBM ToolsCenter SuiteWeb サイト (http://www.ibm.com/support/ entry/portal/docdisplay?Indocid=TOOL-TCSUITE)からダウンロードできます。

手順

- 1. 以下の出荷パッケージのいずれかを選択します。
 - ibm_tcsuite-9.30_windows_i386.zip
 - ibm_tcsuite-9.30_windows_x86-64.zip
 - ibm_tcsuite-9.30_rhel5_i386.tgz
 - ibm_tcsuite-9.30_rhel5_x86-64.tgz
 - ibm_tcsuite-9.30_rhel6_i386.tgz
 - ibm_tcsuite-9.30_rhel6_x86-64.tgz
 - ibm_tcsuite-9.30_sles10_i386.tgz
 - ibm_tcsuite-9.30_sles10_x86-64.tgz
 - ibm_tcsuite-9.30_sles11_i386.tgz
 - ibm_tcsuite-9.30_sles11_x86-64.tgz
- 2. 適切な ToolsCenter Suite zip ファイルをダウンロードしたら、ダウンロードした ファイルを解凍します。

第4章 IBM ToolsCenter Suite の使用

このセクションでは、IBM ToolsCenter Suite の使用について説明します。

IBM ToolsCenter Suite の開始

ターゲット・サーバーに適した ToolsCenter Suite zip ファイルをダウンロードして コピーし、ファイルを解凍したら、IBM ToolsCenter Suiteプログラムを開始できま す。ToolsCenter Suite は、ターゲット・サーバー上で実行する必要があります。

このタスクについて

Windows の場合はステップ 1 を実行し、Linux の場合はステップ 2(10ページ) を 実行します。

注: ToolsCenter Suite では、ToolsCenter Suite の並行セッションの実行はサポート していません。詳しくは、『既知の制限』のトピックを参照してください。

手順

 Windows の場合は、run.bat をダブルクリックします。 ToolsCenter Suite スク リプト・ファイルは、Tomcat サーバーを起動し、http://localhost:8483/ tcsuite.html を使用してデフォルトのブラウザーを開始します。「ToolsCenter Suite ご使用条件」ページが表示されます。

License	IBM Notice	Non-IBM Licenses	Upgrades and downlo	oad terms		日本語	
プログラ	らムのご使用	条件 (保証適用	外プログラム用)				
第1章	- 共通条項						
お客様が ド、導入 件 (保証 されます 件に同覧	がライセンシ・ 、複製、アク+ E適用外プロ こ。お客様が 条件を遵守て 急いただける	ー(使用許諾を受 セス、「同意」ボタ ビラム用)」(以下 ライセンシーの代 させる全権限を存 い場合は、お客	€けた個人、会社、寻 ӯンをクリック、またに 「「本使 用条件」ま 行者として本使用 貢していることを表明 様は	その他の法人)として は使用することにより たは「ILAN」といい 条件に同 意する場 引および 保証いただ	て本件プログラ 人本「プログラ ます。) に同意 合、お客様は、 ごくものとします	シムをダウンロ シムのご使用 したものと見 うイセンシー っこの使用彡	上条なに条
* 本件フ く、かつ	^{ピログラムの}	ダウンロード、導	入、複製、アクセス、	「同意」ボタンのクリ	リック、または使	河をすること	な
* 直ちに 料金のi びそのす	未使用の記 反金を受ける 「べての複製	録媒体および文 らことができます。 物を破棄してくた	書をその調達元に ,本件プログラムを ざさい。	返却することにより ダウンロードした場	、これと引き換 合には、本件フ	えに支払済。 プログラムお。	みよ
1.定義							
间条件	をよくお読み	いただき、「同意	【する」をクリックし [・]	て先に進んでくださ	<i>د</i> ار،		

図1. ご使用条件

- Linux の場合は、run.sh をダブルクリックします。 ToolsCenter Suite スクリプト・ファイルは、Tomcat サーバーを起動し、http://localhost:8483/tcsuite.html をポイントしてデフォルトのブラウザーを開始します。上記のような「ToolsCenter Suite ご使用条件」ページが表示されます。
- 3. ご使用条件を読み、「同意する」をクリックします。 IBM ToolsCenter Suite の ウェルカム・ページが表示されます。



上級者向け全ツール・リスト (コマンドライン対応)

図2. ウェルカム・ページ

ウェルカム・ページでは、ご使用のマシン名とマシン・タイプ/モデルが表示され、IBM ToolsCenter Suiteの機能およびメニュー項目にアクセスすることができます。

4. 「**上級者向け全ツール・リスト**」をクリックして、コマンド行ツールとデプロイ メント・ツールのリストを表示します。

IBM ToolsCenter Suite			設定 製品情報 終了 111111
ようこそ 更新 構成			
IBM ToolsCenter	Suite へようこそ		Ā
ToolsCenter Suite は、ご BladeServer 環境の管理 す。	吏用の IBM System X および に役立つサーバー管理ツールの集ま	<i>це</i>	マシン名: IBM X3640 M3abcdd
特に、これらは以下の主要	なカテゴリーで役立ちます: 級者向け全ツール・リスト		₹9979477€77k; 7912AC1
更新 更新の 推奨別更 更新の	コマンドライン・ツール ・ 構成用スクリプト対応ツール 拡張設定ユーディリティー ・ 更新用スクリプト対応ツール UpdateXpress システム・パック・インストーラー ・ インペントリー/診断用スクリプト対応ツール 動的システム分析	 デプロイメント・ツール カスタム・ブート可能ファームウェア・メディアの作 ブート可能メディア作成 オペレーティング・システム・インストールのカスタ ServerGuide スクリプト・ツールキット Windows オペレーティング・システムのインストー ServerGuide 	成 報 マイズ 1アルタイム情報の収集 情報のカタログ
▲ 上級者向け全ツール・リスト (ご)	コマンドライン対応)		

図3. 上級者向け全ツール・リスト

このページには、これらのツールそれぞれの IBM サポート・ページへのリンク が用意されています。

IBM ToolsCenter Suite メニュー

このセクションでは、IBM ToolsCenter Suite メニューの概要について説明します。

メニュー項目

ToolsCenter Suite グラフィカル・ユーザー・インターフェースには以下のメニュ ー・オプションがあります。

- 設定: インターネット接続設定、および終了オプションとタイムアウト設定からなるその他の設定を構成するには、「設定」を使用します。詳しくは、『インターネット接続の設定』および 13ページの『その他の設定』 を参照してください。
- 製品情報:「製品情報」は、ToolsCenter Suite のバージョン、IBM ToolsCenter Suite Web サイト・リンク、および「ご使用条件」リンクに関する情報を提供し ます。
- 終了: ToolsCenter Suite プログラムを終了します。このアプリケーションを終了 するには、2 つのオプションがあります。詳しくは、14ページの『終了オプション』を参照してください。

インターネット接続の設定

このトピックでは、インターネット接続を表示および構成する方法について説明し ます。「システム情報」機能のIBM への送信とFTP への送信のオプション、およ びプロキシーを介した「更新」にプロキシー設定を使用できます。プロキシーは、 HTTP プロキシーにしてください。IBM ToolsCenter Suite は HTTP プロキシーと 接続するために、HTTP/1.1 CONNECT 方式と UTF-8 エンコードおよびパッシブ FTP モードを使用します。

手順

- 1. IBM ToolsCenter Suite 画面の右上のセクションにある「設定」メニュー・オプ ションをクリックします。 「設定」ダイアログ・ボックスが表示されます。
- 2. 「**インターネット接続」**タブをクリックします。
- 3. 以下のいずれかのインターネット・アクセス・オプションをクリックして選択し ます。
 - a. 管理サーバーはプロキシー設定なしでインターネットにアクセスできます。: 「IP アドレスまたはホスト名」、「ポート」、「ユーザー名」、および「パ スワード」の各フィールドは、ぼかし表示になります。
 - b. 管理サーバーはインターネットにアクセスするためにプロキシー・サーバー を必要とします: このオプションの場合は、以下の手順を実行します。
 - 1) 「IP アドレスまたはホスト名」を入力します。
 - 2) 「ポート」を入力します。デフォルト・ポートは 21 です。
 - 3) 「認証が必要」をクリックします。これにより、認証フィールドが使用可 能になります。

以下の情報を入力します。

- 「**ユーザー名**」を入力します。
- 「**パスワード**」を入力します。

4. 「**インターネット接続のテスト**」をクリックします。 この操作により、インタ ーネット接続が機能しているかどうかが検査されます。

IBM ToolsCenter Suite ようこそ 更新 構成		: 裂品情報 終了	IBM.
BM ToolsCenter S	uite へようこそ	-	
oolsCenter Suite は、ご使 ladeServer 環境の管理に -。 特に、これらは以下の主要な	 設定 インターネット接続 その他 インターネット接続方式を構成します。 管理サーバーはプロキシー・サーバーなしでインターネットにアクセスできます。 管理サーバーはインターネットにアクセスするためにプロキシー・サーバーを必要とします。 IP アドレスまたはホスト名: ボート: 9.125.90.25 8080 	マシン名: IBM X3640 M3a マシン・タイプ/モ 7912AC1	bcdd Eデル:
 更新 更新の簡略化: 推奨される更新 個別更新 更新のダウンロ 級者向け全ツール・リスト (コ 	 図記が必要 ユーザー名: usemame パスワード: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ム情報 ョン情報: カル・リアルタイム情報 ステム情報のカタログ	の収集 ・
	OK キャンセル		

図4. メニュー設定 - インターネット接続のテスト

5. 「OK」をクリックして「設定」を保存して終了するか、「**キャンセル**」をクリ ックします。

その他の設定

このトピックでは、終了オプションおよびタイムアウト設定を表示および変更する 方法について説明します。

手順

- 1. IBM ToolsCenter Suite 画面の右上のセクションにある「設定」メニュー・オプ ションをクリックします。
- 「その他」タブをクリックします。 このタブには、終了オプションおよびタイムアウト設定が表示されます。デフォルトの設定値を使用するか、それらを変更するかを選択できます。詳しくは、14ページの『終了オプション』、および14ページの『タイムアウト設定』を参照してください。



図5. メニュー設定 - その他の設定

3. これらの設定の変更が終了したら、「**OK**」をクリックして「設定」を保存して 終了するか、「**キャンセル**」をクリックします。

終了オプション: このタスクについて

IBM ToolsCenter Suite には、2 つの終了オプションがあります。デフォルトでは、 2 番目のオプションが選択されます。

- 1. 以下の 2 つの終了オプションのいずれかをクリックして選択します。
 - ToolsCenter Suite プログラムを終了すると、このアプリケーションはバック グラウンドで実行を続けます。
 - ToolsCenter Suite プログラムを終了すると、ToolsCenter Suite アプリケーションはバックグラウンドでアクティブではなくなります。

注: このオプションを選択した場合は、該当する始動ファイルをクリックして ToolsCenter Suite プログラムを再起動する必要があります。詳しくは、9ペー ジの『IBM ToolsCenter Suite の開始』を参照してください。

2. 「**OK**」をクリックして終了オプションの変更を保存するか、「**キャンセル**」を クリックします。

タイムアウト設定: このタスクについて

IBM ToolsCenter Suite には、いくつかのタイムアウト・オプションがあります。デ フォルトのタイムアウト設定は 60 分です。

- ドロップダウン・メニューから、以下のいずれかのタイムアウト間隔オプション をクリックして選択します。
 - タイムアウトなし
 - 10 分
 - 20 分
 - 40 分
 - 60 分
 - 90 分
 - 120 分
- 2. 「**OK**」をクリックしてタイムアウト設定の変更を保存するか、「**キャンセル**」 をクリックします。

重要: 選択したタイムアウト間隔の間、ToolsCenter Suite アプリケーションが非ア クティブであった場合、実行中のセッションは自動的にクローズされます。

「更新」機能の使用

「更新」機能を使用すると、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを更新 し、新規システム用にサポートを追加することができます。このセクションでは、 ファームウェアとドライバーのコンプライアンスを検査する方法と、更新をダウン ロードしてインストール方法について説明します。

手順

1. ウェルカム・ページで、または ToolsCenter Suite メニューから、「更新」をク リックして選択します。

「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite	設定 製品情報 終了	IBM.
ようごそ 更新 構成 システム情報		
ファームウェアおよびドライバーの更新		
現在のファームウェアおよびドライバーのコンプライアンスを確認し、それに応じて更新を行います。		
推奨更新		
ファームウェアおよびドライバーのレベルを確認し、UXSP 更新を適用します。 🥥		
個別更新		
ファームウェアおよびドライバーの更新を個別に適用します。		
更新のダウンロード		
UXSP 更新パッケージまたは個別更新パッケージを IBM Web サイトからダウンロードします。		
*		

図6. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページ

注:疑問符の上にマウスを移動すると、その更新に関する追加情報が表示されます。

- 2. いずれかの更新オプションをクリックして選択します。
 - 推奨更新: UpdateXpress System Pack の最新のファームウェア・レベルとドラ イバー・レベルを検査し、IBM Web サイトからまたはローカル・ディレクト リー内のローカル・マシンにインストールされたファームウェア・レベルおよ びドライバー・レベルと比較します。IBM Web サイトからファームウェア更 新とドライバー更新を選択的にダウンロードして適用するか、ローカル・ディ レクトリーからファームウェア更新とドライバー更新を選択的に適用すること ができます。
 - 個別更新:ファームウェア・レベルとドライバー・レベルを検査し、現在インストールされているファームウェアおよびドライバーを IBM Web サイト上またはローカル・ディレクトリー内の個別更新と比較します。 IBM Web サイトからファームウェア更新とドライバー更新を選択的にダウンロードして適用するか、ローカル・ディレクトリーからファームウェア更新とドライバー更新を選択的に適用することができます。
 - 更新のダウンロード:特定のマシン・タイプおよびオペレーティング・システム用の UpdateXpress System Pack または個別更新パッケージをダウンロードします。更新は指定したディレクトリーにダウンロードされ、いつでも適用できます。

ヒント:実験用マシン A のファームウェアまたはドライバーを更新する必要 があり、そのマシンがインターネットにアクセスできない場合でも、更新をダ ウンロードして適用することができます。インターネットにアクセスできる実 験用マシン B を使用して、実験用マシン A 用の更新パッケージをダウンロードすることができます。以下の 2 つの方法のいずれかを使用します。最初の方式の方が簡単であり、推奨されています。

- a. 実験用マシン B 上の ToolsCenter Suite 作業ディレクトリー全体を実験用 マシン A にコピーします。実験用マシン A で ToolsCenter Suite を起動 します。ローカル・ディレクトリーから更新を実行できます。
- b. 実験用マシン A に ToolsCenter Suite ソフトウェアがある場合は、実験用 マシン B 上の ToolsCenter Suite 作業ディレクトリーにあるダウンロード された更新パッケージを、実験用マシン A 上の ToolsCenter Suite 作業デ ィレクトリーにコピーします。実験用マシン A で ToolsCenter Suite を起 動します。ローカル・ディレクトリーから更新を実行できます。

推奨更新

このオプションは、ファームウェアおよびドライバーのレベルを検査し、更新のパ ッケージを適用します。このオプションは、サーバーのファームウェアおよびドラ イバーの更新を取得するための優先される方法です。UpdateXpress System Pack は 更新可能ファームウェアとデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みソフトウェ ア・バンドルで構成されており、IBM System x および IBM BladeCenter の各サー バーを対象としています。

手順

- 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「推奨更新」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。
- 2. 以下の「推奨更新」のオプションのいずれかを選択します。

IBM Web サイトからの最新の UXSP 更新パッケージの使用

このオプションを使用して、IBM Web サイトから UpdateXpress System Pack 更新 をダウンロードし、適用します。

手順

「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「推奨更新」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。



図7. IBM Web サイトからの現行のファームウェアおよびドライバーのレベルの確認

 「IBM Web サイトからの最新 UXSP 更新パッケージ」をクリックし、「OK」 をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了しま す。現行マシンの UXSP ファームウェアおよびドライバーのレベルが IBM Web サイトから取得されます。

IBM ToolsCenter	r Suite			設定(第	以品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新	構成 システム情報					
ファームウェアお	よびドライバーの更新	ŕ				
現在のファームウェアおよび	ドライバーのコンプライアンスを確認	別へそれに応じて更新を行い	ます。			
ToolsCenter Suite 確認が完了すると、T	がファームウェアおよびドライバ・ oolsCenter Suite は、ファームウェフ	ー <mark>のレベルを取得中です。</mark> アとドライバーの更新のダウン	お待ちください。 ロードおよび適用を支援します。			
キャンセル						
- 図 8. 現行マシ	シンの UXSP ファ	マームウェアオ	ちよびドライバー	のレベルの取	得	

取得操作中、進行中アイコンが表示され、「更新」ページはロックされ、「**キャンセル**」が使用可能になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを取得中です。 お待ちください。 取得操作が完了した後、コンプライアンス検査操作が開始されます。

IBM ToolsCenter Suite	設定	製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成 システム情報			
ファームウェアおよびドライバーの更新			
現在のファームウェアおよびドライバーのコンプライアンスを確認し、それに応じて更新を行います。			
⑦ Tools Center Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。お待ちください。			
		J	
₩			

図9. 現行マシンの UXSP ファームウェアおよびドライバーのレベルの検査

コンプライアンス検査操作が機能している間、「更新」ページはロックされ、 「**キャンセル**」が使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。 お待ちください。

注: インターネットに接続していない場合は、「インターネット接続の構成 (Configure Internet Connection)」ダイアログ・ボックスが表示されます。構成を 検査するか再試行します。あるいは、「OK」をクリックして続行するか、「キ ャンセル」をクリックします。詳しくは、12ページの『インターネット接続の 設定』を参照してください。

コンプライアンス検査が完了すると、新しいバージョンの項目の数がファームウ ェアおよびドライバーの更新のテーブルに表示されます。

IDIM TOOISCENIE Julie			8	定 製品情報 終了	ĪB
ようこそ 更新 構成	システム情報				
ァームウェアおよびドライ Eのファームウェアおよびドライバーのコ:	"バーの更新 ノブライアンスを確認し、それに応じて更新	を行います。			
コンプライアンス検査が完了しま 更新を続行 キャンセル	した。				
0 個の項目に新規パージョンがあり	ます。これらの項目を更新するには、	「更新を続行」をクリックしてくた	ささい。		
名前	重大度	新規パージョン	インストール済みパー ジョン	リプートが必要	
個の HBA/CNA および IBM 以外	の更新の場合、システム管理者は、更	新を適用する前に、それらに互	換性があることを確認する必	も要があります。	

図 10. 推奨更新 UXSP ファームウェアおよびドライバーの更新のテーブル

このテーブルにリストされるすべての更新にはチェック・マークが付いており、 更新用に事前選択されています。デフォルトでは各更新にチェック・マークが付いていますが、選択を解除することができます。このテーブルは、リストされている各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度: 「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リブートが必要:「はい」-更新のためにリブートが必要、または「いいえ」-更新のためにリブートは不要

HBA/CNA 更新テーブルは、テーブルにリストされる各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度:「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リブートが必要:「はい」-更新のためにリブートが必要、または「いいえ」-更新のためにリブートは不要
- 3. 「更新を続行」をクリックして、UXSP 更新を IBM Web サイトからダウンロ ードし、ダウンロードしたファームウェアおよびドライバーを適用するか、「**キ**

ャンセル」をクリックして更新の最初のページに戻ります。 ダウンロード操作 中、状況は「開始されていない」、「ダウンロード中」、「ダウンロード済み」 のいずれかになります。ダウンロードされている項目の進行状況表示バーが表示 され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、およびダウンロードさ れたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、すべてのダウン ロード項目の全体的な進行状況が表示されます。現在ダウンロード中の項目を中 止するには、「**停止**」をクリックします。

IBM ToolsCenter Suite		設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成 システム情報			
ファームウェアおよびドライバーの更新 現在のファームウェアおよびドライバーのコンプライアンスを確認し、それにほ	じて運動を行います。		
グランロード中 [brcm_dd_nic_tg3-3.122o_sles10_32-64]: 3140/7 プロセス全体: 0/2 ダウンロード: 6985/60336 KB	242 KB		
11%	停止		
IBM System x iDataPlex® Direct Water Cooled dx360 M4 / Machine	: Type: 7918 - 更新 2		
項目	状況		
brcm_dd_nic_nx2-2.2.1j-1.72.18_sles10_32-64	※ダウンロード中 (7%)		
brcm_dd_nic_tg3-3.122o_sles10_32-64	**** ダウンロード中 (43 %)		

図11. 推奨更新 UXSP の IBM Web サイトからのダウンロード

ダウンロード操作が完了すると、更新操作が開始されます。次のメッセージが表示されます。

更新が進行中です。 x/y 個の項目が更新されました。 更新が進行中の間は、ブラウザーを閉じないでください。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。

更新操作が完了すると、テーブルに更新の状況が示されます。タイム・スタンプ は、更新操作が完了した時刻を示しています。

4. 「**更新の最初のページに戻る**」をクリックして、更新の最初のページに戻りま す。

ローカル・ディレクトリー内の UXSP 更新パッケージの使用

UXSP または個別更新がローカル・ディレクトリーにあり、それらを適用する場合は、このオプションを使用します。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「**推奨更新**」をクリックします。

 「ローカル・ディレクトリー内の最新 UXSP 更新パッケージ」および「OK」を クリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了しま す。

重要:疑問符の上にマウスを移動すると、次のメッセージが表示されます。

既にローカル UXSP (または個別) 更新がある場合は、 それらを次のフォルダーに手動でコピーしてください: %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps ¥tcsuite¥WEB-INF¥depot¥Update¥%MachineType%¥ %OperatingSystem%¥uxsp (または individual)。 %ToolsCenterSuite% は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。

%MachineType% はサーバーの 4 桁のマシン・タイプで、選択されたマシン・タ イプを表しています。%OperatingSystem% はサーバーのオペレーティング・シス テムです。例えば、以下のようになります。%ToolsCenterSuite%¥apachetomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥depot¥Update¥1936¥windows¥uxsp。



図 12. ローカル・ディレクトリーにある最新 UXSP 更新パッケージを使用した現行のファー ムウェア・レベルとドライバー・レベルの検査

コンプライアンス検査操作が機能している間、「更新」ページはロックされ、 「**キャンセル**」が使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。 お待ちください。

操作が完了すると、ファームウェア更新とドライバー更新が入っているテーブル が表示されます。デフォルトでは各更新にチェック・マークが付いていますが、 選択を解除することができます。

ファームウェア更新とドライバー更新のテーブルは、テーブルにリストされる各 更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度:「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
リブートが必要:「はい」-更新のためにリブートが必要、または「いいえ」-更新のためにリブートは不要

HBA/CNA 更新テーブルは、テーブルにリストされる各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度:「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リブートが必要:「はい」-更新のためにリブートが必要、または「いいえ」-更新のためにリブートは不要
- 3. 「更新を続行」をクリックして、ローカル・ディレクトリーからUXSP をインス トールするか、「**キャンセル**」をクリックして更新の最初のページに戻ります。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。

更新が進行中です。 x/y 個の項目が更新されました。 更新が進行中の間は、ブラウザーを閉じないでください。

各更新の状況が「保留 (Pending)」、「更新中」、「更新済み」、「失敗」のいずれかとして表示されます。

更新操作が完了すると、テーブルに更新の状況が示されます。タイム・スタンプ は、更新操作が完了した時刻を示しています。

4. 「**更新の最初のページに戻る**」をクリックして、更新の最初のページに戻りま す。

個別の更新

このオプションを使用して、最新バージョンの各ファームウェアおよびデバイス・ ドライバー・パッケージを取得します。この方法は、個別更新をインストールする 場合、または IBM サポートから個別更新をインストールするよう指示されたとき に使用できます。「個別更新」オプションでは、「UpdateXpress System Pack/推奨 更新」オプションより新しい更新およびホット・フィックス(使用可能な場合)がダ ウンロードされる場合があります。現在インストール済みのファームウェアおよび ドライバーを調べて、IBM Web サイトにある個別更新と比較するか、個別更新をロ ーカル・ディレクトリーからインストールすることができます。

手順

- 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「個別更新」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。
- 2. 以下のいずれかの「個別更新」のオプションを選択します。

IBM Web サイトからの個別更新の使用

このオプションを使用して、IBM Web サイトから個別のファームウェア更新および ドライバー更新をダウンロードし、適用します。

手順

「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「個別更新」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。

現在のファームウェアおよびドライバーのレベル	を確認
現在インストールされているファームウェアおよびドライバーを	欠と比較:
◎ IBM Web サイトからの個別更新	
💿 ローカル・ティレクトリー内の個別更新 🤍	
	OK キャンセル

図 13. IBM Web サイトからの現行のファームウェア・レベルとドライバー・レベルの個別更 新の検査

2. 「**IBM Web サイトからの個別更新**」をクリックし、「**OK**」をクリックして先 へ進むか、「**キャンセル**」をクリックしてこの操作を終了します。

現行マシンの個別のファームウェア・レベルとドライバー・レベルが IBM Web サイトから取得されます。取得操作中、「**キャンセル**」が使用可能になり、次の メッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを取得中です。 お待ちください。

取得操作が完了した後、コンプライアンス検査操作が開始されます。コンプライ アンス検査操作が機能している間、「更新」ページはロックされ、「**キャンセ** ル」が使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。 お待ちください。

コンプライアンス検査が完了すると、新しいバージョンの項目の数がファームウ ェア更新およびドライバー更新のテーブルの上に表示されます。

IBM ToolsCenter Suite				設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成 システム情報					
ァームウェアおよびドライバーの更新 	「 別、それに広いて面新を	行いすす.			
 コンプライアンス検査が完了しました。 更新を続行 キャンセル 					
コンプライアンス検査が完了しました。	- +	10-10-01-0-			
名即	重大度	新規バージョン	1ンストール済みパー ジョン	リフートが必要	
brcm_dd_nic_nx2-2.2.1j-1.72.18_sles10_32-64	Not Required			(#I)	-
i bnx2x.ko (stopped)		1.72.18	1.62.00-3		=
bnx2.ko (stopped)		2.2.1j	2.0.18-suse		
brcm_dd_nic_tg3-3.122o_sles10_32-64	Not Required			(Lt)	
i tg3.ko (stopped)		3.122o	3.114b		
brcd_dd_nic_bna-3.0.0.0_sles10_32-64	Not Required			はい	
brcd_dd_nic_bna-3.0.0.0_sles10_32-64	Not Required	3.0.0.0	2.3.2.1	(#I)	
brcd_dd_nic_bna-3.0.0_sies10_32-64 i	Not Required	3.0.0.0	2.3.2.1	(att) (att)	

図 14. 個別更新のファームウェア更新とドライバー更新のテーブル

このテーブルは、リストされている各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度:「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リブートが必要:「はい」-更新のためにリブートが必要、または「いいえ」-更新のためにリブートは不要
- 3. 左の列の更新をクリックして選択し、「更新を続行」をクリックして更新プロセ スを続行して更新をダウンロードするか、「キャンセル」をクリックして、更新 の最初のページに戻ります。

ダウンロード操作中、進行状況表示バーが表示されて現在ダウンロード中の項目 の進行状況が示され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、および ダウンロードされたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、 すべてのダウンロード項目の全体的な進行状況が表示されます。テーブルにリス トされた更新には、状況が「開始されていない」、「ダウンロード中」、および 「ダウンロード済み」のいずれかとして表示されます。現在ダウンロード中の項 目を中止するには、「停止」をクリックします。

ようこそ 更新 構成 システム情報 ファームウェアおよびドライバーの更新 現在のファームウェアおよびドライバーの更新 現在のファームウェアあよびドライバーのエンプライアンスを確認し、それに応じて ジグンロード中 [etx_dd_fc_40.182.0134_sies10.32-64] : 5741/1167	更新を行います。 0 KB	
ファームウェアおよびドライバーの更新 現在のファームウェアおよびドライパーのコンプライアンスを確認し、それに応じて ダウンロード中 [elx_dd_fc_40.1-82.0134_sles10_32-64] : 5741/1167	更新を行います。 0 KB	
REのファームフェアあよびドライバーのコンフライアンスを確認し、それに応じて ダブンロード中 [elx_dd_fc_4.0.1-82.0.134_sles10_32-64] : 5741/1167 コロース 全体、1.1.5 ポロン パート スの540051912 VB	更新を行います。 0 KB	
デジランロード中 [elx_dd_fc_4.0.1-8.2.0.134_sles10_32-64]: 5741/1167 プロセス全体: 1/5 ダウンロード、205 49051912 VP	0 KB	
2007 EME 1752 220 F. 39548/201812 KB	/# .L	
15%	연고	
BM System x iDataPlex® Direct Water Cooled dx360 M4 / Machine Ty	pe: 7918 - 更新 5	
項目	状況	
brcm_dd_nic_nx2-2.2.1j-1.72.18_sles10_32-64	※ダウンロード中 (19%)	
brcm_dd_nic_tg3-3.122o_sles10_32-64	ダウンロード済み	
brcd_dd_nic_bna-3.0.0.0_sles10_32-64	※ダウンロード中 (6%)	
brcd_dd_fc_bfa-3.0.0.0_sles10_32-64	※ ダウンロード中 (9%)	
elx_dd_fc_4.0.1-8.2.0.134_sles10_32-64	🔆 ダウンロード中 (49%)	
eix_dd_ic_4.0.1-6.2.0.134_SieS10_32-04	5 ₀₅ 7771 (4970)	

図 15. IBM Web サイトからダウンロード中の個別更新

ファームウェアとドライバーのすべてがダウンロードされると、更新が開始されます。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。

更新が進行中です。 x/y 個の項目が更新されました。 更新が進行中の間は、ブラウザーを閉じないでください。

各更新の状況が表示されます。

		LEN
ようこそ 更新 構成 レンステム情報		
ヮームウェアおよびドライバーの更新		
在のファームウェアおよびドライバーのコンプライアンスを確認し、それに尿	芯じて更新を行います。	
連新が進行中です。 1/6 個の項目が更新されました。		
TO REPORT OF SERVICE VIEW OF CO		
⚠️ 更新が進行中の間は、ブラウザーを閉じないでください。		
and a sector was strain for the sector as		
M System x IDataPlex® Direct Water Cooled dx360 M4 / Machine	e Type: 7918 - 更新 6	
項目	状況	
bm_fw_uefi_tde116b-1.10_anyos_32-64	🔽 更新済み	
elx_fw_fc_2.01a3-5.12a5_linux_32-64	⊗ 失敗	
elx_fw_cna_4.0.1-4.1.442.0_linux_32-64	(23 失敗)	
bm_fw_hdd_sas-1.11_linux_32-64	(23) 失敗	
prcm_fw_nic_2.1.8e_linux_32-64	🚫 失敗	

図 16. IBM Web サイトから更新中の個別更新

更新操作が完了すると、テーブルに更新の状況が示されます。タイム・スタンプ は、更新操作が完了した時刻を示しています。

4. 「**更新の最初のページに戻る**」をクリックして、更新の最初のページに戻りま す。

「ローカル・ディレクトリー内の個別更新」の使用

既に更新 (UXSP または個別) がローカル・ディレクトリーにあり、それらを適用す る場合は、このオプションを使用します。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「**個別更新**」をクリックします。

「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボック スが表示されます。

○ IBM Wab せくとかたの個別再新	
○ IBM Web ソイドからの回加速和	
◎ ローカル・ディレクトリー内の個別	重新 ②

図 17. 「ローカル・ディレクトリー内の個別更新」オプション

2. 「**ローカル・ディレクトリー内の個別更新**」および「**OK**」をクリックして先へ 進むか、「**キャンセル**」をクリックしてこの操作を終了します。

重要:疑問符の上にマウスを移動すると、次のメッセージが表示されます。

```
既にローカル UXSP (または個別更新) がある場合は、
それらを次のフォルダーに手動でコピーしてください:
%ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps
¥tcsuite¥WEB-INF¥depot¥Update¥%MachineType%¥
%OperatingSystem%¥uxsp (または individual)。
%ToolsCenterSuite% は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。
```

%MachineType% はサーバーの 4 桁のマシン・タイプで、選択されたマシン・タ イプを表しています。 %OperatingSystem% はサーバーのオペレーティング・シ ステムです。例えば、以下のようになります。 %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF ¥depot¥Update¥1936¥windows¥individual。

コンプライアンス検査が実行されている間、「更新」ページはロックされ、「**キャンセル**」ボタンは使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。 お待ちください。

コンプライアンス検査が完了すると、新しいバージョンの項目の数がファームウ ェア更新およびドライバー更新のテーブルの上に表示されます。このテーブル は、リストされている各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度:「初期リリース (Initial Release)」、「推奨 (Suggested)」、「クリティ カル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リブートが必要:「はい」-更新のためにリブートが必要、または「いいえ」-更新のためにリブートは不要

3. 左の列の更新をクリックして選択し、「更新を続行」をクリックして更新プロセ スを続行するか、「キャンセル」をクリックして、更新の最初のページに戻りま す。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。 更新が進行中です。 x/y 個の項目が更新されました。 更新が進行中の間は、ブラウザーを閉じないでください。

更新アイコンの下に、各更新の状況が「保留 (Pending)」、「更新中」、「更新 済み」、「失敗」のいずれかとして表示されます。

更新操作が完了すると、更新された項目の数および更新が完了した時刻が表示されます。

4. 「**更新の最初のページに戻る**」をクリックして、更新の最初のページに戻りま す。

「更新のダウンロード」の使用

このオプションを使用して、特定のマシン・タイプおよびオペレーティング・シス テム用の UpdateXpress System Pack または個別更新パッケージをダウンロードしま す。更新は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーにダウンロードされ、ユーザー による更新の適用の準備が整うまで、そのディレクトリーに保管されます。適用す る際には、「ローカル・ディレクトリー内の推奨される更新 (Recommended updates in a local directory)」オプションを使用するか、「ローカル・ディレクト リー内の個別更新」オプションを使用します。

IBM Web サイトから UXSP をダウンロード 手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「**更新のダウンロード**」を クリックします。

「ファームウェア/ドライバーのダウンロード」ページが表示されます。



図 18. IBM Web サイトから UXSP 更新をダウンロード

- マシン・タイプとオペレーティング・システムをそれぞれのドロップダウン・メニューからクリックして選択するか、「キャンセル」をクリックして更新の最初のページに戻ります。
- 3. 「IBM Web サイトから UXSP をダウンロード」をクリックします。

選択したパッケージは、次のディレクトリーにダウンロードされます。 %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥ depot¥Update¥%MachineType%¥%OperatingSystem%¥uxsp。

%ToolsCenterSuite% は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。 %MachineType% はサーバーの 4 桁のマシンタイプで、選択されたマシン・タイ プを表しています。%OperatingSystem% はサーバーのオペレーティング・システ ムです。例えば、以下のようになります。 %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥ depot¥Update¥1936¥windows¥uxsp。

4. 「**ダウンロード**」をクリックして、選択したマシン・タイプおよびオペレーティ ング・システム用の更新をダウンロードします。

更新は、ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーにダウンロードされます。どの 更新も適用はされません。後でこのツールを使用して、IBM Web サイトからで なく、ローカル・ディレクトリーからの個別更新を指示することにより、これら の更新を適用することができます。

ダウンロード操作中、進行状況表示バーが表示されて現在ダウンロード中の項目 の進行状況が示され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、および ダウンロードされたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、 すべてのダウンロード項目の全体的な進行状況が表示されます。現在ダウンロー ド中の項目を中止するには、「**停止」**をクリックします。

各ダウンロードの状況が、「開始されていない」、「ダウンロード中」、「ダウ ンロード済み」のいずれかとして表示されます。

IBM ToolsCenter Suite		設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成 システム情報			
ファームウェアバライバーのダウンロード E動は ToolsCenterSuite の作業ディレクトリーにダウンロードされます Cのツールを使用して、IBM Web サイトではなくローカル・ディレクトリー;	。更新はいずれも適用されません。 からの更新を指示することにより、後でこれらの更新を適用できます	٥	
ジアンロード中 [jbm_fw_imm2_1aoo30y-1.51_anyos_noarch プロセス全体: 0/24 ダウンロード: 53505/744555 KB 7%] : 8947/64341 KB 停止		
項目	状況		
ibm fw dsa dsvta1n-9.21 anyos 32-64	() ダウンロード中(4%)		
brcd dd fc bfa-3.0.0.0 sles10 32-64	(19%)		
brcd dd nic bna-3.0.0.0 sles10 32-64	(************************************		
brcm dd nic nx2-2.1.12c-1.70.40 sles10 32-64	ジャンロード中(14%)		
ibm fw imm2 1aoo30v-1.51 anvos noarch	(************************************		
ibm fw hdd sas-1.11 linux 32-64	(************************************		
brcd fw cna 3.0.0.0-d linux 32-64	(10%)		
elx dd nic 4.0.1-4.1.440.0 sles10.32-64	ジェダウンロード中(0%)		
brcm fw nic 2.1.8d linux 32-64	() ダウンロード中(0%)		
elx dd fc 4.01-82.0134 sles10 32-64	開始されていない		
elx dd fc 4.0-8.2.0.127 sles10 32-64	開始されていない		
elx_fw_cna_4.0.1-4.1.442.0_linux_32-64	開始されていない		
brcm_dd_nic_tg3-3.122o_sles10_32-64	開始されていない		
qlgc_fw_fc_8g-mb2.32-4_linux_32-64	開始されていない		

図 19. IBM Web サイトからの UXSP 更新のダウンロードの進行状況

5. すべての項目についてダウンロードが完了したら、「更新の最初のページに戻 る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

IBM Web サイトからファームウェア/ドライバーを個別にダウンロー ド

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「**更新のダウンロード**」を クリックします。

「ファームウェア/ドライバーのダウンロード」ページが表示されます。

IBM ToolsCente	r Suite	設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新	構成 システム情報		
ファームウェアル	ミライバーのダウンロード		
//- <u>A</u> /1//			
更新は ToolsCenterSui	eの作業ディレクトリーにダウンロードされます。更新はいずれも適用されません。		
このツールを使用して、旧	A Webサイトではなくローカル・ティレクトリーからの単新を指示することにより、後でこれらの単新を	と週月できよす。	
マシン・タイプを選択し	てください:		
IBM System x iDataPl	x dx360 M4 / Machine Type: 7912 🔹		
オペレーティング・シス	ムを選択してください		
SUSE Linux Enterpris	- Server (SLES) 10 Zerver (SLES) 10 ZE		
○ IBM Web サイトから	ーンを選択してたさい: JXSPをダウンロード		
IBM Web サイトからこ	ァームウェアバライバーを個別にダウンロード		
選択したパッケージは次0 %ToolsCenterSuite%/	ディレクトリーにダウンロードされます: inache-tomcat-7-026/webapps/tosuite/WEB-INE/depot/Update/7912/sles10/uvsp (または in	odividual)	
		arriada).	
	r5 en		

図 20. IBM Web サイトからの個別更新のダウンロード

- マシン・タイプとオペレーティング・システムをそれぞれのドロップダウン・メニューからクリックして選択するか、「キャンセル」をクリックして更新の最初のページに戻ります。
- 3. 「IBM Web サイトからファームウェア/ドライバーを個別にダウンロード」をク リックします。

選択したパッケージは、次のディレクトリーにダウンロードされます。 %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥ depot¥Update¥%MachineType%¥%OperatingSystem%¥individual。

%ToolsCenterSuite% は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。 %MachineType% はサーバーの 4 桁のマシンタイプで、選択されたマシン・タイ プを表しています。%OperatingSystem% はサーバーのオペレーティング・システ ムです。例えば、以下のようになります。%ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥depot¥Update¥1936¥windows¥individual。

4. 「**ダウンロード**」をクリックして、選択したマシン・タイプおよびオペレーティ ング・システム用の更新をダウンロードします。

更新は、ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーにダウンロードされます。どの 更新も適用はされません。後でこのツールを使用して、IBM Web サイトからで なく、ローカル・ディレクトリーからの個別更新を指示することにより、これら の更新を適用することができます。

ダウンロード操作中、進行状況表示バーが表示されて現在ダウンロード中の項目 の進行状況が示され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、および ダウンロードされたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、 すべてのダウンロード項目の全体的な進行状況が表示されます。現在ダウンロー ド中の項目を中止するには、「**停止」**をクリックします。

各ダウンロードの状況が、「開始されていない」、「ダウンロード中」、「ダウ ンロード済み」のいずれかとして表示されます。

		改定 表面11月報 終」	IBM.
ようこそ 更新 構成 システム情報			
アームウェアバライバーのダウンロード fit ToolsCenterSuiteの作業ディレクトリーにダウンロードされます。J ツツールを使用して、IBM Web サイトではなくローカル・ディレクトリーが	更新はいずれも適用されません。 らの更新を指示することにより、後でこれらの更新を適用できます	ò	
[●] ダウンロード中 [ibm_fw_imm2_1aod36e1.78_anyos_noarch] : プロセス全体:1 / 4 ダウンロード : 26357/532789 KB 4%	8730/64352 KB 停止		
í(E)	状況		
m_fw_dsa_dsyta1n-9.21_anyos_32-64	💒 ダウンロード中 (4%)		
m_fw_dsa_dsyt97c-9.02_anyos_32-64	※ ダウンロード中 (2%)		
m_fw_imm2_1aoo36e-1.78_anyos_noarch	※ ダウンロード中 (13%)		
m_fw_uefi_tde116b-1.10_anyos_32-64	ダウンロード済み		

図 21. IBM Web サイトからの個別更新のダウンロードの進行状況

5. すべての項目についてダウンロードが完了したら、「更新の最初のページに戻 る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

「構成」機能の使用

「構成」機能を使用して、ご使用のシステムの 1 つまたは複数の設定を表示および 変更することができます。このセクションでは、個別の設定やよく使用する設定を 表示および構成する方法、またはフル構成を実行する方法について説明します。 「構成」機能を使用すると、IBM System x の IMM ベースおよび uEFI ベースの サーバーの設定を変更できます。IMM は、IMM ベースのサーバー上でリモート管 理アダプター機能およびベースボード管理コントローラー機能に代わって機能しま す。uEFI は基本入出力システム (BIOS) に代わるもので、オペレーティング・シス テム、プラットフォーム・ファームウェア、および外部デバイス間の標準インター フェースを定義しています。

手順

1. ウェルカム・ページで、または ToolsCenter Suite メニューから、「構成」をク リックして選択します。 「構成の概要」ページが表示されます。



図 22. 構成の概要

2. 「更新の概要」ページで、いずれかの構成オプションをクリックして選択します。

右ペインには、以下のセクションが含まれています。

- ・ よく使用する設定
- ブート順序
- IMM ユーザー・アカウント
- アクティベーション・キー管理
- システム・コンタクト
- エネルギーおよびパフォーマンス
- ・ アクション
 - エクスポート
 - インポート
 - 出荷時のデフォルト値にリセット
- フル設定:構成設定の続きを表示するには、「フル設定」 > 「すべて」をクリックします。

ナビゲーション・メニューから、以下のいずれかの構成オプションをクリックして選択することもできます。

- ・ よく使用する設定
 - ブート順序

- IMM ユーザー・アカウント
- アクティベーション・キー管理
- システム・コンタクト
- エネルギーおよびパフォーマンス
- フル設定:表示されるフル設定は、マシン・タイプによって異なります。次の リストで、フル設定のすべてを説明します。
 - すべて
 - System_PROD_DATA
 - IMM
 - iSCSI
 - uEFI
 - NetworkConnection: NetworkConnection はマシン・タイプおよびインスト ールされたハードウェアとソフトウェアによって決まります。
 - BootOrder
 - PXE

よく使用する設定

このオプションを使用して、よく使用される設定を表示および変更します。「構成 の概要」ページには、それらの各設定の現在の状況が簡略に示されます。

手順

「構成の概要」ページで、またはナビゲーション・メニューから、以下のよく使用 する設定のいずれかをクリックして選択してください。

- ブート順序
- ・ IMM ユーザー・アカウント
- アクティベーション・キー管理
- システム・コンタクト
- エネルギーおよびパフォーマンス

ブート順序

このオプションを使用して、システム・デバイスのブート順序および Wake on LAN ブート順序のシーケンスを表示および変更します。ブート順序シーケンスは IMM に保管され、始動プロセスのときにサーバーのファームウェアによって使用さ れます。

手順

1. 「**ブート順序**」をクリックします。 「構成 - ブート順序」ページが表示されま す。

IBM ToolsCenter Suite	設定 製品情報 終了 []]][[]][[]][[]][[]]][[]][[]][[]][[]][
ようこそ 更新 構成	ステム情報
▼構成	構成 - ブート順序
マシン名: IBM X3640 M3abcdd	プート・デバイスの順序を指定します。
マシン・タイプ/モデル: 7912AC1	適用リセット
▼-般	
概要	使用可能なデバイス:現在のプート順序: Floppy Disk Legacy Only
▼よく使用する設定	Hard Disk 1 Hard Disk 0 Hard Disk 2 CD/DVO Rom Hard Disk 3 PXE Network Embedded Hoervivor USS Storage
ブート順序	USB1 Diagnostics USB2 Internal USB
IMM ユーザー・アカウント	USB3 PCIE1 追加 > Hard Disk 4 iSCSI
アクティベーション・キー管理	PCIE2 USB4 LAN1 Dual_SATA_CON1
エネルギーおよびパフォーマンス	REMOTE ISCSICritical
▼ フル 設定	
 すべて 	
SYSTEM_PROD_DATA	
IMM	
iSCSI	
UEFI	
BootModes	

図 23. 構成 - ブート順序

- 2. 表示または変更を行う「ブート順序」タブをクリックして選択します。
 - ブート順序
 - WoL ブート順序

右ペインの右側に「現在のブート順序」、左側に「使用可能なデバイス」がそれ ぞれリストされます。

- 3. 「現在のブート順序」リストに変更を加えるには、以下の該当する手順を実行し ます。
 - a. 「現在のブート順序」リストに示されているデバイスの現在のブート順序シ ーケンスだけを変更するには、デバイスをクリックして選択し、「上に移 動」、「下に移動」、「< 除去」のいずれかのボタンをクリックします。
 - b. 「現在のブート順序」リストにデバイスを追加するには、「使用可能なデバイス」のリストから、追加するデバイスをクリックして「追加 >」をクリックします。
- 4. 選択したアクションをキャンセルするには、「**リセット**」をクリックします。
- 5. 「適用」をクリックして、新しいブート順序シーケンスの変更内容を保存しま す。

IMM ユーザー・アカウント

このオプションを使用して、IMM ユーザー・アカウントを作成、削除、または編集 します。

手順

1. 「構成の概要」ページで「**IMM ユーザー・アカウント**」 をクリックします。 「構成 - IMM ユーザー・アカウント」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite		設江	ま 製品情報 終了
ようこそ 更新 構成 言	システム情報		
▼構成	▲ 構成 - IMM ユーザー・アカウン	N	
マシン名: IBM X3640 M3abcdd マシン・タイプ(モデル:	新しい IMM ユーザー・アカウントを作成するには、「ユ 「ユーザーの編集」または「ユーザーの削除」をそれそ	ユーザーの作成Jをクリックします。ユーザーを編ま ざれクリックします。	鳥または削除するには、ユーザーを選択して
7912AC1	ユーザーの作成 ユーザーの削除 ユ	ーザーの編集	
▼ 一般	ユーザー名	アクセス	パスワード有効期限
概要		スーパーバイザー	無期限
▼よく使用する設定			
ブート順序			
IMM ユーザー・アカウント			
アクティベーション・キー管理			
システム・コンタクト			
エネルギーおよびパフォーマンス			
▼フル設定			
 すべて 			
SYSTEM_PROD_DATA			
IMM			
ISCSI			
UEFI			
BootModes	•		

図 24. 構成 - IMM ユーザー・アカウント

既存の IMM ユーザーが IMM ユーザー・アカウント・リストに表示されます。 このリストは、各ユーザーについて、以下の情報を提供します。

- ユーザー名
- アクセス
- パスワード有効期限
- 2. 新規ユーザーを作成するには、「**ユーザーの作成**」をクリックします。 「ユー ザーの作成」ダイアログ・ボックスが表示されます。
 - a. 以下のユーザー情報を入力してから「OK」をクリックするか、「**キャンセ** ル」をクリックして「ユーザーの作成」ダイアログ・ボックスを終了しま す。
 - ユーザー名
 - パスワード
 - パスワードの確認

注: 各フィールドに情報を入力した後、ユーザー名規則とパスワード規則 が自動的に検査され、各フィールドがそれらの規則を満たしているかどう かが検証されます。

新規ユーザーが作成されると、そのユーザーが IMM ユーザー・アカウント・リストに追加されます。

- IMM ユーザー・アカウント・リストから既存のユーザーを削除するには、「ユ ーザー名」をクリックして、「ユーザーの削除」をクリックします。「IMM ユ ーザーを削除しますか?」ダイアログ・ボックスで、「OK」をクリックして IMM ユーザーの削除を確認するか、「キャンセル」をクリックして終了しま す。
- 既存のユーザーを編集するには、「ユーザー名」をクリックして選択し、「ユー ザーの編集」をクリックします。「ユーザーの編集」ダイアログ・ボックスが 表示されます。以下の IMM ユーザー・オプションを変更できます。
 - 自分のユーザー名とパスワードを変更するには、「ユーザー信用証明情報」タ ブをクリックします。
 - ・以下のいずれかのユーザー・アクセス・レベルを選択するには、「権限」タブ を選択します。
 - スーパーバイザー:制限は一切ありません。
 - 読み取り専用: 読み取り専用アクセス権限だけを持ち、保存、変更、クリア、および状態に影響を及ぼす操作は、どれも実行できません。
 - カスタム:ユーザーは、どのカスタム権限レベルを割り当てられているかに
 応じて、制限がある場合とない場合があります。
- 5. ユーザー情報の編集が完了したら、「**OK**」をクリックするか「**キャンセル**」を クリックして、「ユーザーの編集」ダイアログ・ボックスを終了します。

アクティベーション・キー管理

Features on Demand は、Features on Demand アクティベーション・キーと呼ばれる ソフトウェア・キーによってサーバー上のフィーチャーまたはオプションをアクテ ィブにする機能を備えています。このオプションを使用して、現在インストールさ れているキーのリストを表示し、IBM KMS Web サイトからキーをインストール し、ローカル側にインストールされているキーをエクスポートし、インストールし たキー・ファイルを削除することができます。Features on Demand について詳しく は、「IBM System x Features on Demand の使用法」Redbookを参照してください。

手順

1. 「構成の概要」ページで「**アクティベーション・キー管理**」をクリックします。 「構成 - アクティベーション・キー管理」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite			設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成	システム情報			
▼構成	備成 - アクティベーション・キー管理			
マシン名: IBM X3640 M3abcdd	現在インストールされているキーを表示します。IBM KMS Web サイトかく きます。	らキーをインストーノ	れするか、ローカル・キー・ファイルをインボ	ートすることがで
マシン・タイプ/モデル: 7912AC1	② ③ 1 選択したキーを IBM KMS Web サイトか	らインストール	ローカル・ファイル からインストール	/
▼ -般	フィーチャーの説明	制約	状況	
-m.æ	IBM Integrated Management Module Advanced Upgrade		有効	
194.35	IBM Virtual Fabric Advanced Software Upgrade (LOM)		未インストール	
▼よく使用する設定	ServeRAID M5100 Series Performance Key for IBM System		未インストール	
ブート順序	ServeRAID M5100 Series SSD Caching Enabler for IBM System x		未インストール	
IMM ユーザー・アカウント	ServeRAID M1100/M5100 Series Zero Cache/RAID 5		未インストール	
アクティベーション・キー管理	ServeRAID M5100 Series RAID 6 Upgrade for IBM System x		未インストール	
システム・コンタクト				
エネルギーおよびパフォーマンス				
▼フル設定				
 すべて 				
SYSTEM_PROD_DATA				
IMM				
iSCSI	■ 状況が「未インストール」のキーは、 <u>IBM website</u> から購入できます。			
- UEFI				
BootModes	v			

図 25. 構成 - アクティベーション・キー管理

インストール済みのフィーチャーのアクティベーション・キーは、現行インスト ール済みキー・リストに表示されます。稼働中のインターネット接続がある場合 は、現行システムに使用可能なアクティベーション・キーを IBM KMS Web サ イトから購入できます。

- 2. 以下のいずれかのオプションをクリックして選択するか、次のステップに進むこ とができます。
 - 最新表示

注:「最新表示」をクリックすると、現行システム用のインストール済みフィ ーチャー・アクティベーション・キーと、そのシステムに使用可能なアクティ ベーション・キー (これは IBM Web サイトから購入できます) がアクティベ ーション・キー・リストに表示されます。

- ・ エクスポート
- 削除
- ・ 選択したキーを IBM KMS Web サイトからインストール
- ローカル・ファイルからインストール
- 3. 「**エクスポート**」をクリックして、ブラウザー・ウィンドウにキー・ファイルを 開きます。「キー・ファイルを開く (Open Key File)」ダイアログ・ボックスが 表示されます。「OK」をクリックして続行するか、「**キャンセル**」をクリック し、終了して「アクティベーション・キー管理」ページに戻ります。
- 「削除」をクリックして、キーを削除します。「キー削除の確認」ダイアロ グ・ボックスが表示されます。「OK」 をクリックしてキーを削除するか、「キ ャンセル」をクリックしてキーを保持します。

- アクティベーション・キー・リストで、状況が「未インストール」として表示されるキーを選択し、「選択したキーを IBM KMS Web サイトからインストール」をクリックします。「IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストール」ダイアログ・ボックスが表示されます。
 - a. 「IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストール」ダ イアログ・ボックスに情報を入力します。
 - IBM ID
 - ユーザー・パスワード
 - 各キーの詳細
 - b. 「今すぐインストール」をクリックして、IBM KMS Web サイトからアクテ ィベーション・キーをインストールします。 「IBM KMS サイトからアクテ ィベーション・キーをインストール (Install Activation Key from IBM KMS Site)」ページが表示されます。

Rの情報を指定してくださ	560:
ールするには許可コードお	よび固有 ID が必要です。)
固有 ID	許可コード
	 (0)情報を指定してくたさ -ルするには許可コードあ 固有 ID

図 26. IBM KMS サイトからアクティベーション・キーをインストール

IBM ID エラーになったかパスワードが認識されなかった場合は、次のエラ ー・メッセージ・ダイアログ・ボックスが表示されます。 IBM ID またはパスワードが認識されません。 (The IBM ID or password is not recognized.)

固有 ID エラーになった場合は、次のエラー・メッセージが表示されます。

示されたライセンスの固有 ID が認識されません。 (The Unique Identifiers for the indicated license are not recognized.) 許可コードおよび固有 ID が必要であることに注意してください。 (Note that an authorization code and Unique Identifier are required.)

- 6. 「**ローカル・ファイルからインストール**」をクリックして、ローカル・ファイル から 1 つ以上のキーをインストールします。 「ファイルのアップロード (File Upload)」ダイアログ・ボックスが表示されます。
 - a. ファイル・アップロード・ディレクトリー・ロケーションをクリックして選択し、「**開く (Open)**」をクリックします。
 - b. サーバーにアップロードするアクティベーション・キー・ファイルをクリックして選択し、「OK」をクリックします。「ローカル・ファイルからアクティベーション・キーをインストール」ダイアログ・ボックスが開きます。進行状況表示バーにキー・インストール・パーセンテージが示され、テーブルにインストール済みアクティベーション・キーの情報がリストされます。
- 7. いつでも「最新表示」をクリックすると、現行のインストール済みキーのリスト と使用可能なキーのリストが最新表示されます。

システム・コンタクト

システム・コンタクト情報は、操作およびサポート担当者がシステムを識別するために使用します。このオプションを使用して、システム・コンタクト情報を追加または変更します。

手順

1. 「構成の概要」ページで「システム・コンタクト」をクリックします。 「構成 - システム・コンタクト」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite	設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成	ステム情報	
▼構成	構成 - システム・コンタクト	
マシン名: IBM X3640 M3abcdd	運用担当者あよびサポート担当者がこのシステムを識別できるような説明を指定してください。	
マシン・タイプモデル: 7912AC1	適用 リセット	
▼ -般	マシン名: ¹⁰ IBM X3640 M3abcdd	
概要	システム記述名: 🔍	
▼よく使用する設定	連絡先担当者: 🎯	
ブート順序		
IMM ユーザー・アカウント	場所(サイト、地理的座標): 🎯	
アクティベーション・キー管理		
システム・コンタクト	部屋 ID: ③	
エネルギーおよびパフォーマンス		
▼フル設定		
 すべて 		
SYSTEM_PROD_DATA		
IMM		
ISCSI		
UEFI		
BootModes	■	

図 27. 構成 - システム・コンタクト

- 2. 表示される「マシン名」について、以下の該当する情報を入力します。
 - マシン名
 - ・ システム記述名
 - 連絡先担当者
 - ・ 場所 (サイト、地理的座標)
- 3. 「適用」をクリックして、新しいシステム・コンタクト情報を適用および保存す るか、「リセット」をクリックして元の「システム・コンタクト」情報をリスト アします。

エネルギーおよびパフォーマンス

「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定は、マシン・タイプによって決まりま す。該当するオプションを使用して、「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定 の値を変更してください。パフォーマンスおよび電力のチューニングは、最良の見 積もりに基づいています。環境の違いによって、結果が最良の見積もりと同じでな い場合もあります。

M4 マシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定:

この手順を使用して、M4 マシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」 の設定値を変更します。M4 マシンには、4 つのエネルギーおよびパフォーマンス のオプションがあります。M4 のデフォルト状態は「効率」です。

手順

1. 「構成の概要」ページで「**エネルギーおよびパフォーマンス**」をクリックしま す。「構成 - エネルギーおよびパフォーマンス」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite	設定 製品情報 終了 []]]
ようこそ 更新 構成	システム情報
▼構成	構成 - エネルギーおよびパフォーマンス
マシン名: IBM X3640 M3abcdd	パフォーマンスと電力消費量のパランスを取るには、「エネルギーおよびパフォーマンス」設定を溢択します。
マシン・タイプ/モデル: 7912AC1	適用 リセット
▼-般	 ・ ③ 効率 -パフォーマンス優先 「効率 2/フォーマンス優先」 「効率 2/フォーマンス優先」モードは、パフォーマンスワット効率をパフォーマンス寄りに最適化します。これは Energy Star コンプライアン ・ ・ ・
概要	スの優先モードです。
▼よく使用する設定	 ● 最大パフォーマンス 「最大パフォーマンス 「最大パフォーマンスもモードは、電力節約をあまり重視せずに、システムの絶対パフォーマンスを最大化します。電力消費量に加えて、ファ
ブート順序	ン速度と発熱量も増加する場合があります。
IMM ユーザー・アカウント アクティバーション・キー等理	
システム・コンタクト	○効率 電力優先 「効率 電力優先」モードは、パフォーマンスパワット効率を省電力寄りに最適化します。
エネルギーおよびパフォーマンス	
▼ フル設定	 泉小電力 「泉小電力」は、システムの稼働中、および電源キャップを使用していない場合に、電力消費量を最小化します。
_ すべて	
SYSTEM_PROD_DATA	
ІММ	
iSCSI	
UEFI	
BootModes	v

図 28. 構成 - エネルギーおよびパフォーマンス

- 2. ご使用のシステムに合わせて、以下のいずれかのオプションをクリックして選択 します。
 - 効率 パフォーマンス優先: このモードは、パフォーマンス/ワット効率をパフォーマンス寄りに最適化します。これは Energy Star コンプライアンスの優先モードです。
 - 最大パフォーマンス: このモードは、電力節約をあまり重視せずに、システムの絶対パフォーマンスを最大化します。電力消費量に加えて、ファン速度と発熱量も増加する場合があります。
 - 効率 電力優先: このモードは、パフォーマンス/ワット効率を省電力寄りに 最適化します。この設定は、M4 マシン・タイプにのみ適用できます。
 - 最小電力: このモードは、システムの稼働中、および電源キャップを使用して いない場合に、電力消費量を最小化します。
- 「適用」をクリックして「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定変更を適用 および保存するか、「リセット」をクリックして、以前の「エネルギーおよびパ フォーマンス」の設定に戻します。 選択したオプションに変更を加えていない 場合、「適用」と「リセット」のボタンは使用できません。

M4 より前のマシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定:

この手順を使用して、M4 より古いマシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定値を変更します。これらのマシン・タイプには、エネルギーおよびパフォーマンスの 3 つのオプションがあります。

手順

- 1. 「構成の概要」ページで「**エネルギーおよびパフォーマンス**」をクリックしま す。「構成 - エネルギーおよびパフォーマンス」ページが表示されます。
- 2. ご使用のシステムに合わせて、以下のいずれかのオプションをクリックして選択 します。
 - 効率: このモードは、パフォーマンス/ワット効率を最適化します。これは Energy Star コンプライアンスの優先モードです。
 - 最大パフォーマンス: このモードは、電力節約をあまり重視せずに、システムの絶対パフォーマンスを最大化します。電力消費量に加えて、ファン速度と発熱量も増加する場合があります。
 - 最小電力: このモードは、システムの稼働中、および電源キャップを設定して いない場合に、電力消費量を最小化します。
- 「適用」をクリックして「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定変更を適用 および保存するか、「リセット」をクリックして、以前の「エネルギーおよびパ フォーマンス」の設定に戻します。 選択したオプションに変更を加えていない 場合、「適用」と「リセット」のボタンは使用できません。

アクション

アクション・セクションでは、「エクスポート」、「インポート」、および「出荷 時のデフォルト値にリセット」の各オプションに素早くアクセスすることができま す。

このタスクについて

この手順で説明する「エクスポート」、「インポート」、および「出荷時のデフォ ルト値にリセット」の各オプションを使用して、特定の状況にアクションを適用し ます。

- エクスポート:構成を変更するか更新をインストールする前に、現行のマシン設定をエクスポートするために使用します。
- インポート: 設定をエクスポートした後、マシンに構成設定をリストアまたは複 製するために使用します。
- 出荷時のデフォルト値にリセット:構成の変更または更新が適用される前のマシン設定をリストアするために使用します。

手順

「構成の概要」ページで、以下のいずれかのアクションをクリックして選択します。

• エクスポート:「saveall.out を開く」ダイアログ・ボックスが表示されます。



図 29. 構成 - エクスポート・アクション

以下のいずれかのオプションを選択します。

- 「**プログラムで開く**」をクリックして、ドロップダウン・メニューからブラウ ザーを選択します。
- 「ファイルを保存する」および「OK」をクリックします。
- 「**今後この種類のファイルは同様に処理する**」をクリックして、このダイアロ グ・ボックスで作成したエクスポート・オプションを保存します。
- 「**キャンセル**」をクリックして、この操作を終了します。
- インポート:「構成ファイルのインポート」ダイアログ・ボックスが表示されます。

ンポートする構成ファイルを選択します。	
構成ファイルの選択	

図 30. 構成 - インポート・アクション

以下のいずれかのオプションを選択します。

 「構成ファイルの選択」をクリックし、「ファイルのアップロード (File Upload)」ダイアログ・ボックスからファイルを参照して選択するか、「キャン セル」をクリックしてこの操作を終了します。

同じサーバーからエクスポートされた構成ファイルをインポートすることを選 択した場合は、「構成設定を復元することを確認」ダイアログ・ボックスが表 示されます。

	インポートされた構成ファイルからすべての設定を適用しますか? このマシンにすべての設定を適用するには「OK」を、元の構成設定を保持するには 「キャンセル」をクリックします。
--	--

図 31. 構成 - インポート・アクション - 構成設定のリストア

- 「**OK**」をクリックして、このマシン用のすべての設定を適用するか、「**キャ** ンセル」をクリックして、元の構成設定を保持します。
- 別のマシンからエクスポートされた構成ファイルをインポートすることを選択した場合は、「構成設定を複製することを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。



図 32. 構成 - インポート・アクション - 構成設定の複製

「OK」をクリックして、このマシン用のすべての設定を適用するか、「キャンセル」をクリックして、元の構成設定を保持します。

- 出荷時のデフォルト値にリセット:ドロップダウン・メニューを使用して、以下のいずれかのリセット・オプションを選択します。
 - すべての設定を出荷時のデフォルト値にリセット
 - IMM 出荷時のデフォルト値にリセット
 - uEFI 出荷時のデフォルト値にリセット

フル設定

「フル設定」オプションを使用して、すべてのシステム設定を表示します。これに は、SYSTEM_PROD_DATA、IMM、iSCI、uEFI NetworkConnection、BootOrder、お よび PXE が含まれます。「フル設定」は固定された設定のグループではなく、マ シン・タイプとモデルによって異なります。

手順

 ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」>「すべて」をクリック します。「構成 - すべて構成」ページが表示されます。このページには、すべ ての設定、そのグループ名、および現行値のテーブル・リストが示されます。テ ーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

IBM ToolsCenter Suite			設定 製品情報 終了	N.
ようこそ 更新 構成 シ	ステム情報			
▼構成	構成 - すべて 構成			
マシン名: IBM X3640 M3abcdd マシン・タイプ(モデル: 7912AC1	(特) 从 - ソ・こ (特) 从 設定を編集する行をクリックします。 適用 すべて 出荷時のデフォルト値にリセッ	4		
▼-般				
概要				
▼よく使用する設定	設定名	グループ名	値	
	SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName	SYSTEM_PROD_DATA	7912AC1	A
ブート順序	SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier	SYSTEM_PROD_DATA	IBM X3640 M3abcdd	
IMM ユーザー・アカウント	SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum	SYSTEM_PROD_DATA	23NLW21	
アジティペーンヨン・キー管理	SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID	SYSTEM_PROD_DATA	C02AE80544DAB6010CA20013E8	
エネルギーおよびパフォーマンス	SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUDI	SYSTEM_PROD_DATA	'system'	
	SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag	SYSTEM_PROD_DATA	111111	
▼フル設定	IMM.PowerRestorePolicy	IMM	Restore 👻	
	IMM.ThermalModePolicy	IMM	Normal 💌	
<u>- 予不て</u>	IMM.PowerOnAtSpecifiedTime	IMM	0:0:0:0	
SYSTEM_PROD_DATA	IMM.ShutdownAndPowerOff	IMM	WD:HH:MM	
IMM	IMM.PowerOnServer	IMM	WD:HH:MM	
iSCSI	IMM.ShutdownAndRestart	IMM	WD:HH:MM	
UEFI	IMM.PXE_NextBootEnabled	IMM	Disabled 👻	-
BootModes	▼			

図 33. 構成 - すべての設定

- 2. このページには、設定を表示または変更するためのいくつかのオプションがあり ます。
 - ・ 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。)この設定の最良の 一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
 - 設定の値を変更するには、「値」列でドロップダウン・メニューをクリックして値を選択します。
 - ・ 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しま すか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進 むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択 すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。
 設定の適用中。お待ちください...
 設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

・設定をリセットするには、「すべて出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。

3. 個別の設定を表示するには、ナビゲーション・メニューで、「**すべて**」をクリックし、表示する設定をクリックします。 個別の設定の情報が右ペインに表示され、その設定のグループ名と現行値が示されます。

SYSTEM_PROD_DATA 設定

このオプションを使用して、SYSTEM_PROD_DATA 設定を表示し、それらの設定 の値を変更します。SYSTEM_PROD_DATA はユーザーが構成可能な VPD 設定で す。

手順

ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「SYSTEM_PROD_DATA」をクリックします。 「構成 - SYSTEM_PROD_DATA 構成」ページが表示されます。

ンステム情報		
	推改	
(構成 - SYSIEM_PROD_DATA 設定を編集する行をクリックします。 適用 SYSTEM_PROD_DATA 出荷時の	(特.0X) デフォルト値にリセット	
Ξ		
設定名	グループ名	値
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName	SYSTEM_PROD_DATA	7912AC1
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier	SYSTEM_PROD_DATA	IBM X3640 M3abcdd
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum	SYSTEM_PROD_DATA	23NLW21
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID	SYSTEM_PROD_DATA	C02AE80544DAB6010CA20013E8
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUDI	SYSTEM_PROD_DATA	'system'
SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag	SYSTEM_PROD_DATA	111111
	構成 - SYSTEM_PROD_DATA 設定を編集する行をクリックします。 適用 SYSTEM_PROD_DATA 出荷時の ② ② ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③	構成 - SYSTEM_PROD_DATA 構成 設定を編集する行をクリックします。 道用 SYSTEM_PROD_DATA 出荷時のデフォルト値にリセット

図 34. 構成 - SYSTEM_PROD_DATA

このページには、すべての SYSTEM_PROD_DATA 設定、そのグループ名、お よび現行値をリストしたテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上にマ ウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

2. このページには、SYSTEM_PROD_DATA 設定を表示または変更するためのいく つかのオプションがあります。

注: SYS_PROD_DATA_SysInfoProdName 設定の値は変更できません。

- ・ 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。)この設定の最良の 一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
- 設定の値を追加または変更するには、「値」列に値を入力します。

設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。設定の適用中。お待ちください...

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

 設定をリセットするには、「SYSTEM_PROD_DATA 出荷時のデフォルト値 にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイア ログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行 するか、「キャンセル」をクリックします。

IMM 設定

このオプションを使用して IMM 設定を表示し、それらの設定を変更します。

手順

 1. ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「IMM」をクリックします。「構成 - IMM 構成」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite		設定 製品情報 終了 📴 🧱
ようこそ 更新 構成	システム情報	
▼構成	· · · · · · · · · · · · · · · ·	
マシン名: IBM X3640 M3abcdd マシン・タイプモデル: 7912AC1	作号 ルス - IVIIVI 作号 ルス 設定を編集する行をクリックします。 適用 IMM 出荷時のデフォルト値にリセット	
▼ - 般		
概要	Ξ	
▼よく使用する設定	設定名 グループ名	值
	IMM.PowerRestorePolicy IMM	Restore 👻
ブート順序	IMM.ThermalModePolicy IMM	Normal 👻
IMM ユーザー・アカウント	IMM.PowerOnAtSpecifiedTime IMM	0:0:0:0
アクティペーション・モー管理	IMM.ShutdownAndPowerOff IMM	WD:HH:MM
エネルギーおよびパフォーマンス	IMM.PowerOnServer IMM	WD:HH:MM
	IMM.ShutdownAndRestart IMM	WD:HH:MM
▼フル設定	IMM.PXE_NextBootEnabled IMM	Disabled 💌
	IMM.TimeZone IMM	GMT+0:00 👻
 すべて 	IMM.DST IMM	No
SYSTEM_PROD_DATA	IMM.IMMinfo_Name IMM	
IMM	IMM.IMMInfo_Contact IMM	
iSCSI	IMM.IMMInfo_Location IMM	
UEFI	IMM.IMMInfo_RoomId IMM	
BootModes		

図 35. 構成 - IMM 設定

このページには、すべての IMM 設定、そのグループ名、および現行値をリスト したテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、 その設定の定義が表示されます。

- 2. このページには、IMM 設定を表示または変更するためのいくつかのオプション があります。
 - ・ 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。)この設定の最良の 一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
 - 設定の値を変更するには、「値」列でドロップダウン・メニューをクリックして値を選択します。
 - ・設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。
 設定の適用中。お待ちください...
 設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

設定をリセットするには、「IMM 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。

iSCSI 設定

このオプションを使用して、iSCSI 設定または個別の設定を表示し、それらの設定 を変更します。iSCSI 設定は、1 つのレコードにグループ化されています。このレ コードのレコード・キーは、iSCSI.AttemptName 設定です。各レコードは、1 つの アテンプトを表しています。「アテンプト」という用語は、「インスタンス」とい う用語と同じ意味です。複数のアテンプトを定義できます。複数のアテンプトを定 義した場合、そのアテンプト・グループを定義する同じ設定名が使用されますが、 各アテンプトには次の順次インスタンス番号が入っています。例えば、

iSCSI.MacAddress.1 と iSCSI.MacAddress.2 はそれぞれ、「第 1」アテンプトと 「第 2」アテンプトに属します。すべてのアテンプトにグローバル iSCSI 設定とし て定義されていて、インスタンス・インデックスを必要としない唯一のパラメータ ーは、iSCSI.InitiatorName です。

手順

 ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「iSCSI」をクリックします。「構成 - iSCSI 構成」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite			設定 製品情報 終了
ようこそ 更新 構成	システム情報		
▼構成	着 構成 - iSCSI 構成		
マシン名: IBM X3640 M3abcdd マシン・タイプモデル: 7912AC1	設定を編集する行をクリックします。 適用 iSCSI出荷時のデフォルト値にり	セット	
▼-般			
概要	≡		
▼よく使用する設定	設定名	グループ名	値
フート順序 IMM ユーザー・アカウント アクティペーション・キー管理 システム・コンタクト エネルギーあよびパフォーマンス		ISCSI	iqn.1996-03.com.ibm:1234
▼フル設定			
 すべて SYSTEM_PROD_DATA IMM ISCSI UEFI BootModes 			

図 36. 構成 - iSCSI

このページには、すべての iSCSI 設定、そのグループ名、および現行値をリストしたテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

- 2. このページには、iSCSI 設定を表示または変更するためのいくつかのオプション があります。
 - 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。)この設定の最良の 一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
 - 設定の値を変更するには、「値」列に新しい値を入力します。
 - 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。誤った値が入力されると、ダイアログ・ボックスにその情報が表示されます。「クローズ」をクリックします。正しい値が入力されると、「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。

設定の適用中。お待ちください...

設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

- 設定をリセットするには、「iSCSI 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。
- 3. 個別の設定を表示するには、ナビゲーション・メニューで、「**すべて**」 > 「**iSCSI**」をクリックし、表示する設定をクリックします。 個別の設定の情報が 右ペインに表示され、その設定のグループ名と現行値が示されます。

uEFI 設定

このオプションを使用して、uEFI 設定を表示および変更します。

手順

 ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「uEFI」をクリックします。 「構成 - uEFI 構成 (uEFI Configuration)」ページ が表示されます。

IBM ToolsCenter Suite		設定 製品情報 終了
ようこそ 更新 構成	マステム情報	
▼構成		
マシン名: IBM X3640 M3abcdd マシン・タイプルデル: 7912AC1	構成 - UEFI構成 設定を編集する行をクリックします。変更を有効にするには、システムを再起動する必要 適用 UEFI出荷時のデフォルト値にリセット	があります。
▼-般		
概要		
▼よく使用する設定	設定名 グループ名	値
ブート順序	BootModes SystemBootMode BootModes BootModes OptimizedBoot BootModes	UEFI and Legacy Enable
IMM ユーザー・アカウント アクティット・シュキュ等項	BootModes.QuietBoot BootModes	Enable
システム・コンタクト	BootModes.DriverHealthCheck BootModes	All
エネルギーおよびパフォーマンス	DevicesandIOPorts.ConfiguretheonboardSATA portsas DevicesandIOPorts	AHCI 👻
	DevicesandIOPorts.ConfigureIDEmode DevicesandIOPorts	Compatibility mode 👻
* フル設定	DevicesandIOPorts.ActiveVideo DevicesandIOPorts	Onboard Device 💌
 すべて 	DevicesandIOPorts.PCIExpressNativeControl DevicesandIOPorts	Enable
SYSTEM_PROD_DATA	DevicesandIOPorts.PCI64- BitResourceAllocation DevicesandIOPorts	Disable
IMM	DevicesandIOPorts.COMPort1 DevicesandIOPorts	Enable
iSCSI	DevicesandIOPorts.COMPort2 DevicesandIOPorts	Enable
	DevicesandIOPorts.RemoteConsole DevicesandIOPorts	Disable
BootModes		•

図 37. 構成 - uEFI 設定

このページには、すべての uEFI 設定、そのグループ名、および現行値をリスト したテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、 その設定の定義が表示されます。

- 2. このページには、uEFI 設定を表示または変更するためのいくつかのオプション があります。
 - ・ 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。)この設定の最良の 一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。

- 設定の値を変更するには、「値」列で 「値」をクリックしてドロップダウ ン・メニューを表示し、値を選択します。
- 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。設定の適用中。お待ちください...

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

- 設定をリセットするには、「uEFI 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。
- 3. 個別の設定を表示するには、ナビゲーション・メニューで、「**すべて**」 > 「**uEFI**」をクリックし、表示する設定をクリックします。 個別の設定の情報が 右ペインに表示され、その設定のグループ名と現行値が示されます。

BootOrder 設定

このオプションを使用して、BootOrder 設定を構成します。BootOrder に対する変更 は、リブートの後に有効になります。

手順

 ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「BootOrder」をクリックするか、ブート順序についての検索を実行します。 「構成 - BootOrder 構成」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite				設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成	シス	テム情報			
アクティペーション・キー管理 システム・コンタクト エネルギーあよびパフォーマンス マフル設定		構成 - BootOrder 構成 設定を編集する行をクリックします。			
্র রুন্ব SYSTEM_PROD_DATA IMM		適用 BootOrder 出荷時のテ	フォルト値にリセット		
iSCSI		設定名	グループ名	値	
		BootOrder.BootOrder	BootOrder	ブート順序	
BeetMadee		BootOrder.WolBootOrder	BootOrder	WoL ブート順序	
DevicesandIOPorts					
LegacySupport					
Memory					
OperatingModes	=				
POSTAttempts					
Power					
Processors					
SystemRecovery					
SystemSecurity					
BootOrder					

図 38. 構成 - BootOrder

BootOrder の各タイプについて詳細を表示するには、マウスを各行の上に移動します。その特定の BootOrder が何を行うかについての説明が表示されます。

- 2. 以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 設定をリセットするには、「BootOrder 出荷時のデフォルト値にリセット」を クリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックス が表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャ ンセル」をクリックします。
 - 「値」列で「ブート順序」をクリックして、リストされているブート順序項目の1つを選択します。「ブート順序の構成 (Configure Boot Order)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして続行するか、「キャンセル」をクリックしてダイアログ・ボックスを終了し、「構成 ブート順序」ページに戻ります。

関連タスク:

35ページの『ブート順序』 「ブート順序」構成に関する追加情報を提供します。

PXE 設定

このオプションを使用して、Preboot Execute Environment (PXE) 設定を構成しま す。PXE は、ハード・ディスクなどのデータ・ストレージ・デバイスやインストー ルされているオペレーティング・システムに依存しないネットワーク・インターフ ェースを使用して、コンピューターをブートするための環境です。

手順

1. ナビゲーション・メニューを使用して、「**フル設定」**>「**すべて」**>「**PXE**」 をクリックします。「構成 - **PXE**構成」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite			設定 製品情報 終了
ようこそ 更新 構成 🖇	ンステム情報		
▼構成	▲ 構成 - PXF 構成		
マシン名: X3850 マシン・タイプモデル: 7145AC1	であり、「アトレートランス」	Turk	
▼-般			
概要	Q		
▼よく使用する設定	設定名	グループ名	値
	PXE.NicPortMacAddress.1	PXE	E4-1F-13-E3-56-F8
ブート順序	PXE.NicPortMacAddress.2	PXE	E4-1F-13-E3-56-FA
IMM ユーザー・アカウント	PXE.NicPortPxeMode.1	PXE	UEFI and Legacy Support
システム・コンタクト	PXE.NicPortPxeMode.2	PXE	UEFI and Legacy Support
エネルギーおよびパフォーマンス	PXE.NicPortPxeProtocol.1	PXE	IPv4 v
	PXE.NicPortPxeProtocol.2	PXE	IPv4 v
▼フル設定			
<u>-</u>			
SYSTEM_PROD_DATA			
uEFI			
IMM			
BootOrder			
PXE	▼		

図 39. 構成 - PXE

PXE 設定リストは、PXE MAC アドレス、PXE ポート・デバイス、および PXE ポート・プロトコルから構成されています。リストされる各 PXE 設定の詳 細を表示するには、マウスを各行の上に移動します。その設定の説明が表示され ます。

- 2. 以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 設定をリセットするには、「PXE 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。
 - 「値」列の項目をクリックして選択します。
 - MAC アドレスは、新しいアドレスを入力することによって変更できます。
 - ドロップダウン・メニューから PXE ポート・デバイス値をクリックして選択します。
 - ドロップダウン・メニューから PXE ポート・プロトコル値をクリックして 選択します。
 - ・「適用」をクリックして、新しい PXE 設定を保存します。

「システム情報」機能の使用

このセクションでは、システム状況とイベント・ログをスキャンして表示する方 法、およびシステム情報を収集する方法について説明します。分析、サービス、お よびサポートのために、フル・システム情報を収集することができます。これらの ファイルは、IBM サポートまたは FTP サーバーに送信することができます。

手順

1. ウェルカム・ページで、または ToolsCenter Suite メニューから、「システム情報」をクリックして選択します。「システム情報 - 概要」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite				設定 製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成	システム情報				
▼システム情報	システム情	書報 - 概要			
マシン名: IBM X3640 M3abcdd		システム・リアルタイム状況の)スキャンおよび表示		
マシン・タイプ/モデル: 7912AC1		ライト・パス 続く	イベント・ログ 続く		
▼-般		 	 グリティカル: 9 ① 		
概要		▲ チェック・ログ: オン	 i 通知: 37		
▼システム・ヘルス		ID: #7			
ライト・パス					
		フル・システム情報の収集 サービスおよびサポートのフル・システ	ーム情報を収集します。	すぐに収集	
		これらのファイルを IBM サポートまた	は FTP サーバーに送信できます。		

図 40. システム情報 - 概要

ナビゲーション・メニューには、システム・ヘルスのオプションが入っていま す。右ペインには、リアルタイムのシステム状況が示されます。「システム情報 - 概要」ページを最初に開いたときに、状況が更新されます。状況を再更新する には、イベント・ログ画面またはライト・パス画面で「最新表示」 をクリック します。

右ペインの「フル・システム情報の収集」セクションには、最後にフル・システ ム情報が収集されたときを示す日付スタンプが表示されます。また、レポート名 がリンクとして表示されます。このリンクをクリックすると、レポートが開か れ、ご使用のシステムの完全なシステム概要が示されます。

- 2. 「システム情報 概要」ページで、以下のいずれかのオプションをクリックして選択します。
 - ・ ライト・パス

- イベント・ログ
- ・ すぐに収集

ライト・パス状況

このオプションは、マシンのフロント・パネルおよび背面パネルの各 LED、および プレーナー上にある詳細 LED の位置と状況について情報を提供します。

手順

 ライト・パス状況情報を表示するには、「システム情報 - 概要」ページで「ラ イト・パス」ダッシュボードをクリックするか、「ライト・パス」ダッシュボー ド内の「続く」をクリックします。「ライト・パス」情報ページが表示されま す。

IBM ToolsCenter Suite			設定 製品情報 終	7 IBM.
ようこそ 更新 構成	システム情報			
▼ システム情報		- 41		
マシン名: IBM X3640 M3abcdd マシン・タイプ(モデル:	ジステム情報 - フイト・バス マシンのフロント・パネルの LED (レベル 1)		7	
7912AC1	LED ラベル	場所	状況	
▼-般	障害	Front Panel, Rear Panel	1 オフ	
	ID	Front Panel, Rear Panel	11 オフ	
要游	チェック・ログ	Front Panel	 ▼ オン	
▼ システム・ヘルス	電源	Front Panel, Rear Panel	オン	
ライト・パフ	詳細 LED			
イベント・ログ	LED ラベル	場所	状況	
	CPU 1	Planar	ୁ <i>ସ</i> ହ	
	CPU 2	Planar	☆ オフ	
	DIMM 1	Planar		
	DIMM 2	Planar		
	DIMM 3	Planar		
	DIMM 4	Planar		
	DIMM 5	Planar	⑦ オフ	
	DIMM 6	Planar		
	DIMM 7	Planar	⑦ オフ	
	DIMM 8	Planar		
	DIMM 9	Planar		
	DIMM 10	Planar	⑦ オフ	
	DIMM 11	Planar		

図 41. システム情報 - ライト・パス状況

ライト・パス画面で「最新表示」をクリックして、最新のライト・パス情報を収 集することができます。ナビゲーション・メニューから「**ライト・パス**」を選択 すると、以前に収集されたライト・パス情報が表示されます。

「ライト・パス」ページには以下の状況が示されます。

マシンのフロント・パネルの LED (レベル 1):

以下の LED について報告される状況は、「オン」または「オフ」で す。位置は、「フロント・パネル (Front Panel)」または「背面パネル (Rear Panel)」として表示されます。

障害
- ID
- 電源
- チェック・ログ

詳細 LED:

「詳細 LED」について報告される状況は、いずれの詳細 LED について も「オン」および「オフ」ですが、「IMM2 ハートビート (IMM2 Heartbeat)」だけは例外で、これには「明滅」という状況があります。詳 細情報は、マシン・タイプごとに異なります。

- CPU 1
- CPU 2
- DIMM 1
- DIMM 2
- DIMM 2
- DIMM 4
- DIMM 5
- DIMM 6
- DIMM 7
- DIMM 8
- DIMM 9
- DIMM 10
- DIMM 11
- DIMM 12
- DIMM 13
- DIMM 14
- DIMM 15
- DIMM 16
- PCIE 1
- PCIE 2
- バッテリー
- IMM2 ハートビート (IMM2 Heartbeat)
- Mezz カード (Mezz Card)
- 2. LED の表示を完了したら、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - ナビゲーション・メニューから「概要」の「システム情報 概要」ページまたは「イベント・ログ」ページをクリックして選択します。
 - 画面上部にある、いずれかの ToolsCenter Suite メニュー項目をクリックしま す。

イベント・ログ情報

このオプションは、IPMI SEL イベント・ログから収集された「クリティカル」、 「警告」、「通知」の各イベントの詳細情報を提供します。

手順

イベント・ログ情報を表示するには、「システム情報 - 概要」ページで「イベント・ログ」ダッシュボードをクリックするか、「イベント・ログ」ダッシュボード内の「続く」をクリックします。「システム情報 - イベント・ログ」ページが表示されます。

IBM ToolsCenter Suite		設定	製品情報 終了	IBM.
ようこそ 更新 構成	システム情報			
▼システム情報	システム	青報 - イベント・ログ		
マシン名: IBM X3640 M3abcdd マシン・タイプ/モデル: 7912AC1	タイプがクリティン 検出された問題	カル、警告、および通知のイベント・ログを表示するには、重大度レベルをクリックします。 たむ正するための推奨アクションを取得します。次をクリックしてください:問題判別坊よびサー	בתיארוי 🔁	
▼	• 🔕 🤉	9 クリティカル・イベント		
概要	• 🛕 (0 警告イベント		
▼ システム・ヘルス	1	37 通知イベント		
	レコード	メッセージ	タイム・スタンプ	
ライト・パス	1	System Management Software 1 (System Firmware Progress - Phy Presence Jmp): Assertion: Device Inserted / Device Present	2012年11月14日水曜 日 11時29分55秒 FST	
	2	BIOS 1 (System Firmware Progress - Progress): Assertion: System Firmware Progress	2012年11月14日水曜 日 11時29分56秒 FST	
	3	BIOS 1 (System Firmware Progress - ABR Status): Assertion: System Firmware From (POST Fron)	2012年11月14日水曜 日 11時30分04秒 FST	
	4	System Management Software 1 (Management Subsystem Health - Low Security Imp): Assertion: Device Inserted / Device Present	2012年11月14日水曜 日 11時30分05秒 FST	-
	5	BIOS 1 (System Firmware Progress - ABR Status): Deassertion: System Firmware Frogr (POST Front)	2012年11月14日水曜 日 11時32分50秒 FST	-
	6	Power Unit / Power Domain 1 (Power Unit - Host Power): Assertion: Power Off / Power Down	2012年11月14日水曜 日 11時32分51秒 FST	
	7	Power Unit / Power Domain 1 (Power Unit - Host Power): Deassertion: Power Off / Power Down	2012年11月14日水曜 日 11時33分01秒 FST	-
	8	Power Unit / Power Domain 1 (Power Unit - Host Power): Assertion: Power Off / Power Down	2012年11月16日金曜 日 9時34分11秒 FST	
	9	BIOS 1 (System Event - Aux Log): Assertion: Entry added to Auxiliary Log	2012年11月16日金曜 日 11時31分06秒 FST	
	10	System Management Software 1 (System Firmware Progress - Phy Presence Jmp): Assertion: Device Inserted / Device Present	2012年11月16日金曜 日 11時31分17秒 FST	-
		BIOS 1 (System Firmware Progress - Progress): Assertion: System Firmware	2012年11月16日金曜	-

図 42. システム情報 - イベント・ログ

イベント・ログ画面で「最新表示」をクリックして、最新のイベント・ログ状況 を収集することができます。 ナビゲーション・メニューから「**イベント・ロ グ**」を選択すると、以前に収集されたイベント・ログ情報が表示されます。

イベント・ログには、以下の3つのタイプの重大度レベルが記録されます。

- クリティカル
- 通知

イベント・ログ・レポートのカテゴリーは、以下のとおりです。

- ・ レコード ID
- メッセージ
- タイム・スタンプ

「イベント・ログ」ページには、情報を表示するために以下のオプションがあり ます。

- 矢印をクリックして、重大度レベル・カテゴリーを展開します。重大度レベルの詳細ビューが表示されます。これには、収集されたすべてのイベントが含まれています。
- レポート・カテゴリーの見出しをクリックして、リストをソートします。
- 矢印をクリックして、重大度レベル・カテゴリーを省略します。最小化された 重大度レベルのビューが表示されます。
- 2. 「問題判別およびサービス・ガイド」をクリックして、イベント・ログにある検 出された問題に対する推奨アクションを表示します。
- 3. イベント・ログ情報の表示を完了したら、以下のいずれかのオプションを選択し ます。
 - ナビゲーション・メニューから「概要」の「システム情報 概要」ページまたは「ライト・パス」ページをクリックして選択します。
 - 画面上部にある、いずれかの ToolsCenter Suite メニュー項目をクリックしま す。

フル・システム情報の収集

このオプションは、分析、サービス、およびサポートのために、システムに照会してフル・システム情報を提供します。収集プロセスによって生成されたファイルは、IBM サポートまたは FTP サーバーに送信することができます。

手順

 「すぐに収集」をクリックして、フル・システム情報の収集機能を開始します。 これらのファイルは、「システム情報 - 概要」ページで IBM サポートまたは FTP サーバーに送信できます。「フル・システム情報の収集」ダイアログ・ボ ックスが表示されます。

シュティ情報				
システム情報	システム情報 - 概要			
シン名:				
3M X3640 M3abcdd	フル・システム情報の収集			
'シン*タイプ/モデル: 9124C1				
012101	🤃 フル・システム情報収集が次の時刻に開始されました: 21:03.お待ちください	·		
一般	33%			
(ar ar				
概要	説明	状況		
システム・ヘルス	Initializing Inventory			
	Copying Schema	2 進行由		
ライト・パス	Running DSA collector plug-ins pass 1.			
イベント・ログ	liberndaticonfiglog: AMU Aticonfig Log Collector マネリ libesuprovider: Advanced Setting Utility(ASU) Setting Collector マ完 完了 libbist: BIST マ完 完了			
			=	
	libdiskmgt: Disk Management Information Collector			
	Iberantes: Exerties Calester	libdisplayinto: Display Information Collector		
	1949 - London Ella Landan			
	Ibbendungslufer Handware Information Collector	(注) 進行中		

図43. システム情報 - フル・システム情報の収集

収集プロセスの実行中は、進行状況表示バーが表示されます。

注: 収集操作が正常に完了する前に「キャンセル」 をクリックすると、収集プロセスが停止し、データは何も記録されません。「キャンセル」をクリックする とダイアログ・ボックスが開き、続行するかどうかを尋ねてきます。続行するには「収集を続行」をクリックし、収集プロセスを停止するには「収集を停止」を クリックします。

収集の進行につれて、インベントリー・リストが生成されます。このリストは各 インベントリー項目の状況に関する情報を提供し、情報の収集中は「初期化中 (*Initializing*)」を、収集が完了した場合は「完了」を示します。

2. フル・システム情報の収集が正常に完了すると、次のページが表示されます。

システム情報	システム情報、概要					
シン名: M X3640 M3abcdd シン・タイプ/モデル: り12AC1		ました:2012年11月25日日	曜日 21時11分03			
一般	100)%				
既要			44 20			
	libesainfo: ESA-DSA Information	3	☑ 完了			
レステム・ヘルス	liblpanal: Light Path Analysis					
ライト・パス イベント・ログ	libsraidanal: SRaid Analysis					
	libux: UpdateXpress Version Checker Running DSA analyzer plug-ins pass 2. libipanal: Light Path Analysis			ST.		
			🔽 完了		ST.	
	Running Diagnostics.		🔽 完了			
	Adding DSA log entries to XML file.		🛃 完了			
	Writing XML data to file 21 完了		🔽 完了			
	Writing HTML files to directory		🛃 完了			
	Inventory Finished		🛃 完了	-		
	「キャンセル」をクリックすると、データを記録する。	ことなく収集プロセスが停止し	ます。	関比る		
		区18元 💙	3-3-2 L-F	100		

図 44. システム情報 - フル・システム情報の収集の完了

以下のいずれかのオプションを選択します。

- 情報を IBM サポートまたは FTP サーバーに送信するには、「送信先」をク リックします。ドロップダウン・メニューから、以下のいずれかのオプション を選択します。
 - IBM サポートに送信 (Send to IBM Support): ダイアログ・ボックスが表示され、IBM サポートへの収集の送信に数分かかる場合があることを示します。この操作が完了したら、「閉じる」をクリックします。 IBM サポートへの送信に失敗した場合は、「インターネット接続の構成 (Configure Internet Connection)」ダイアログ・ボックスが表示されます。

注: インターネットに接続していない場合は、「インターネット接続の構成 (Configure Internet Connection)」ダイアログ・ボックスが表示されます。構 成を検査して再試行します。あるいは、「OK」をクリックして続行する か、「キャンセル」をクリックします。詳しくは、12ページの『インター ネット接続の設定』を参照してください。

- **FTP サーバーに送信**:「FTP サーバーに送信」ダイアログ・ボックスで以下の手順を実行します。
 - a. IP アドレスを入力します: FTP サーバー IP
 - b. FTP への送信アクションには認証が必要です。以下の情報を入力してく ださい。
 - IP アドレスを入力します: FTP サーバー IP
 - ポート: デフォルト・ポートは 21 です。
 - 「認証が必要」をクリックして選択します。

- 「ユーザー名」を入力します。
- 「パスワード」を入力します。
- 「**Ok**」をクリックして続行するか、「**キャンセル**」をクリックしてこの操作を終了します。
- 「ダウンロード」をクリックします。このオプションを使用すると、完全情報 レポートをローカル・ファイルにダウンロードすることができます。zip ファ イルを開くダイアログ・ボックスが表示され、フル・システム・レポートの zip ファイル名を示します。デフォルトでは、「ファイルを保存 (Save File)」 オプションが選択されます。以下のいずれかのオプションを選択します。
 - zip ファイルをダウンロードするアプリケーションを参照して選択するには、「アプリケーションから開く (Open with)」をクリックします。
 「OK」をクリックします。 zip ファイルを保存するためのディレクトリーを選択するダイアログ・ボックスが開きます。
 - 「**OK**」をクリックして、ファイルを保存します。zip ファイルを保存する ためのディレクトリーを選択するダイアログ・ボックスが開きます。
- •「閉じる」をクリックして、「システム情報 概要」ページに戻ります。

タスクの結果

「システム情報 - 概要」ページに戻ると、収集情報名と日付スタンプが右ペインに 表示されます。



図 45. システム情報 - フル・システム情報レポートのリンク

次のタスク

以下のいずれかのオプションを選択します。

- 日付スタンプの下にあるフル・システム情報レポートのリンクをクリックして、 ブラウザー・ウィンドウにフル・システム情報レポートを表示します。詳しく は、『ToolsCenter Suite レポートの表示』を参照してください。
- 「送信先」 をクリックして、「IBM サポートに送信 (Send to IBM Support)」または「FTP に送信 (Send to FTP)」を選択します。
- 「ダウンロード」をクリックして、完全情報レポートをローカル・ファイルにダウンロードします。
- 「再収集」をクリックして、フル・システム情報を再収集します。
- このページにリストされているその他のオプションの1つをクリックして選択するか、別のToolsCenter Suite 機能を選択します。

ToolsCenter Suite レポートの表示

このオプションを使用して、「フル・システム情報の収集」機能によって生成された ToolsCenter Suite レポートおよび詳細情報を表示します。

手順

 「システム情報 - 概要」ページで、フル・システム情報レポートのリンクをク リックして、フル・システム情報レポートを表示します。以下に示すように、ブ ラウザー・ウィンドウにシステム概要レポートが表示されます。

「**再収集**」をクリックして、レポートを表示する前にフル・システム情報を再収 集することもできます。フル・システム情報が更新される間、「フル・システム 情報の収集」ダイアログ・ボックスが表示されます。 詳しくは、『61ページの 『フル・システム情報の収集』』を参照してください。

		IBM X3640 M3abcdd -[7912AC1] linux-xljo		
Software		•.		
System Overview	System Over	System Overview		
Installed Packages Kernel Modules	Computer System			
Network Settings	Manufacturer	IBM		
Resource Utilization	Version	04		
Processes OS Configuration	Product Name	IBM X3640 M3abcdd -[7912AC1]		
Linux Config Files	Serial Number	23NLW21		
ardware	System UUID	c02ae805-44da-b601-0ca2-0013e86e43fb		
Hardware Inventory PCI Information	Operating System			
Firmware/VPD	Computer Name	linux-sdjo		
IMM Configuration	Product Name	LINUX		
Environmentals	Build Number	SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4 (x86_64)		
Drive Health	Vendor	Novell, Inc.		
LSI Controller	Kernel Name	Linux		
Mellanox Adapter	Kernel Release	2.6.16.60-0.85.1-smp		
FusionIO Adapter	Hardware Platform	×86_64		
PMC RAID	Uptime	2 days 19 hours 48 seconds		
ServeRAID	Time of Last Boot	11/23/2012 02:04:05		
ServeRAID Logs Qlogic	TimeZone			
Broadcom	LocalDateTime	11/25/2012 21:04:41		
Brocade Adapter	Current Time Zone	EST		
VMware ESXi Light Path	Current User			
IMM Built-in Self Test FoD Activation Key	User Name			
Linux Logs	Report Highlights			
/var/log/boot.msg	Message			
/var/log/mail.err	/ver/log/messages Log col	lection truncated after 4096 entries		
/ var/ ioR/ messages	/var/log/warn Log collection truncated after 4096 entries			

図46. システム情報 - フル・システム情報レポート

- ナビゲーション・メニューから、5 つの主なレポート・カテゴリーにリストされた特定の項目を選択して、さらに詳細な情報を取得することができます。 選択可能なレポート情報は、マシン・タイプ、オペレーティング・システム、インストールされたハードウェアとソフトウェアによって決まります。ご使用のシステムに適用されない情報は、ナビゲーション・メニューの中でぼかし表示になります。
 - ・ ソフトウェア
 - システム概要 (System Overview)
 - インストール済みパッケージ
 - カーネル・モジュール (Kernel Modules)
 - ネットワーク設定 (Network Settings)
 - リソース使用状況 (Resource Utilization)
 - プロセス
 - OS 構成 (OS Configuration)
 - Linux 構成ファイル (Linux Config Files)
 - ハードウェア
 - ハードウェア・インベントリー (Hardware Inventory)
 - PCI 情報 (PCI Information)
 - ファームウェア/VPD (Firmware/VPD)
 - IMM 構成 (IMM Configuration)
 - 環境 (Environmentals)
 - ドライブ・ヘルス (Drive Health)
 - LSI コントローラー (LSI Controller)

- LSI IDE コントローラー (LSI IDE Controller)
- Mellanox アダプター (Mellanox Adapter)
- PMC RAID
- ServeRAID
- ServeRAID ログ (ServeRAID Logs)
- QLogic
- Emulex
- Broadcom
- Brocade アダプター (Brocade Adapter)
- VMware ESXi
- ライト・パス
- IMM 組み込み自己診断テスト (IMM Built-in Self Test)
- FoD アクティベーション・キー (FoD Activation Key)
- プラットフォーム・ログ (Platform Logs)
 - /var/log/boot.log
 - /var/log/cron
 - /var/log/dmesg
 - /var/log/messages
 - /var/log/secure
- ・ IMM ログ (IMM Logs)
 - シャーシ・イベント・ログ (Chassis Event Log)
 - IPMI イベント (IPMI Event)
- 分析 (Analysis)
 - マージされたログ (Merged Log)
 - UpdateXpress
 - ファイル・ローダーの結果 (File Loader Results)
 - 診断ログ (Diagnostics Log)
 - DSA エラー・ログ (DSA Error Log)
- 3. 情報の表示が終了したら、クリックしてブラウザー・ウィンドウを閉じます。

IBM ToolsCenter Suite ファイル

このセクションでは、IBM ToolsCenter Suite ファイルが保管されている場所について説明します。

ToolsCenter Suite ログ・ファイル

ToolsCenter Suite ログ・ファイルは、 %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥logs ディレクトリーに保管されます。 %ToolsCenterSuite% は作業ディレクトリーです。

新しいログ情報は、tcsuite_20120909225751.log ファイルに付加されます。ログ・ ファイル名の中の数値は、年/月/日/時/分/秒を表しています。

更新ファイル

いずれかの更新オプションを使用してダウンロードされる更新ファイルは、以下の ディレクトリーに保管されます。

- UpdateXpress System Pack の XML ファイルおよびバイナリー・ファイル %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥depot¥Update¥%MachineType%¥%OperatingSystem%¥uxsp
- 個別の XML ファイルおよびバイナリー・ファイル %ToolsCenterSuite%¥apache-tomcat-7.0.26¥webapps¥tcsuite¥WEB-INF¥depot¥Update¥%MachineType%¥%OperatingSystem%¥individual

%ToolsCenterSuite% は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。 %MachineType% はサーバーの 4 桁のマシン・タイプで、選択されたマシン・タイ プを表しています。また %OperatingSytem% はサーバーのオペレーティング・シス テムです。

第 5 章 トラブルシューティングおよびサポート

このセクションを使用して、ToolsCenter Suite の問題をトラブルシューティングし、解決します。

既知の制限

IBM ToolsCenter Suite 9.30の既知の制限は、以下のとおりです。

Windows 64 ビット・オペレーティング・システム

すべての Windows 64 ビット・オペレーティング・システムで、生データ を入手すると、Windows OS に関する論理装置テーブル情報が失われます。

「Full Settings」オプション

「Full Settings」オプションで、Power.PowerPerformenceBias の値を変更した場合、設定変更が正常に行われなくても、エラー・メッセージは報告されません。

ToolsCenter Suite の並行操作

IBM ToolsCenter Suite では、一度に複数のセッション実行をサポートして いません。2 つ目のインスタンスを開始しようとする場合は、開いている ToolsCenter Suite ブラウザーのウィンドウをまず最初に閉じてから、 「ToolsCenter Suite」のデスクトップ・ショートカットまたは .bat/.sh ス クリプト・ファイルをクリックして 2 つ目のインスタンスを開始します。2 つ目のインスタンスを開始しようとすると、以下のメッセージが表示されま す。Warning! The current instance of ToolsCenter Suite that is running will be killed if you continue. If you select Y, the old instance will be killed and the new instance will be started. Continue? (Y/N)

「Y」を選択して、新しいインスタンスを起動します。

IBM サイトからのアクティベーション・キーのインストール IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストールする のに、プロキシーを介したネットワーク接続を使用することはできません。

Firefox での、「Configuration」の「Boot Order」の場合
 Firefox では、「Configuration」の「Boot Order」について、リスト・ビルダ
 ー・ウィジェットのブランク行を選択します。リスト・ビルダー・ウィジェットの最後の行が選択され、強調表示されます。

ToolsCenter Suite では IPv6 をサポートしません ToolsCenter Suite では、IPv6 FTP サーバーへの、収集された完全な情報の 送信をサポートしていません。

回避策

IBM ToolsCenter Suite 9.30には、以下の回避策が適用されます。

「Configuration」の「Frequently Used Settings」の「Energy and Performance」について、「Custom」モードが現在サポートされていません。 回避策:

これらの値を変更するには、「Full Settings」を使用します。

一部の Windows オペレーティング・システムで IE を使用中に、「進行中」アイ コンが回転しない場合があります。 回避策:

- Windows 2008 では、「Windows サーバー マネージャ」 > 「IE セキュ リティ強化の構成」の下で、現行ユーザーについて「Internet Explore セ キュリティ強化構成」をオフにします。
- Windows 2003 では、「スタート」メニューから「コントロール パネ ル」を開きます。「プログラムの追加と削除」をクリックし、次に、 「Windows コンポーネントの追加/削除」をクリックします。「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」オプションを選択解除して、「次 へ」をクリックします。Windows により、このコンポーネントがアンイ ンストールされます。

一部の Windows オペレーティング・システムで IE を使用中に、Local ファイルからアクティベーション・キーをインストールする際にアクティベーション・キーのインストール進行中のページはありません。
 回避策:

- Windows 2012 では、「サーバー マネージャ」 > 「ローカル サーバー」の下で、「IE セキュリティ強化の構成」をオフにします。
- Windows 2008 では、「Windows サーバー マネージャ」 > 「IE セキュ リティ強化の構成」の下で、現行ユーザーについて「Internet Explore セ キュリティ強化構成」をオフにします。
- Windows 2003 では、「スタート」メニューから「コントロール パネル」を開きます。「プログラムの追加と削除」をクリックし、次に、「Windows コンポーネントの追加/削除」をクリックします。「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」オプションを選択解除して、「次へ」をクリックします。Windows により、このコンポーネントがアンインストールされます。

注意

IBM ToolsCenter Suite 9.30 には、以下の注意が適用されます。

- Internet Explorer v10 (IE10) では、パスワード入力フィールドに目のアイコンが 付くようになりました。目のアイコンを使用して、パスワード情報を読み取るこ とができます。これは、IE 10 の新しい機能です。
- IBM ToolsCenter の開始は、デスクトップ・ショートカットまたは .bat/.sh ス クリプト・ファイルから行う必要があります。ブラウザーのウィンドウから直接 リンクを開くと、予測できない結果が生じることがあります。
- ToolsCenter Suite を Linux 環境で実行するためには、run.sh の実行特権を変更 します。
- ブラウザーのウィンドウで「戻る」、「進む」、「最新表示」などのブラウザ
 ー・アクションを使用することはお勧めしません。IBM ToolsCenter Suite では、

「戻る」、「進む」、「最新表示」をサポートしていません。場合によっては、 これらのブラウザー機能を使用すると、予想しない結果が生じることがありま す。

- System Information および Updates では、「Setting」メニュー項目で構成された プロキシーを使用し、ブラウザー構成で構成されたプロキシーは使用しません。
- サーバーが正しく動作することを確認するために、Configuration 機能の「Full Settings」オプションの SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName を編集することはで きません。

ヘルプおよび技術援助の入手

この情報を使用して、ご使用の IBM System x ツールおよび BladeCenter ツールに 関する技術援助を検索してください。

このタスクについて

ヘルプ、サービス、技術支援、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合 は、IBM がさまざまな形で提供している支援をご利用いただけます。このセクショ ンでは、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、ご使用のシステムで問題が 発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先について記 載しています。

連絡する前に

サービスおよびサポートに連絡して問題を報告する前に、この情報を使用してくだ さい。

このタスクについて

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

- 最新バージョンのツールがインストールされていることを確認します。
- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション装置の電源が オンになっていることを確認します。
- ご使用のシステムに付属の資料に記載のトラブルシューティング情報を参照する か、診断ツールを使用します。
- IBM サポート Web サイト (http://www.ibm.com/support/jp/ja/) にアクセスして、 テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーがないか調べます。
- IBM Web サイトの IBM ディスカッション・フォーラムを使用して、質問を出し ます。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラ ブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができ ます。IBM システムに付属の説明資料にも、お客様が実行できる診断テストについ ての説明があります。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプロ グラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コ ードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合 は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

資料の使用に関する詳細情報を見つけるには、この情報を使用します。

このタスクについて

IBM システムおよびプリインストール・ソフトウェア (ある場合) またはオプショ ン装置に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。その資料には、イ ンフォメーション・センター、オンライン資料、印刷された資料、README ファイ ル、およびヘルプ・ファイルが含まれる場合があります。診断プログラムの使用方 法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照し てください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、 デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になること があります。 IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライ バーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにア クセスするには、IBM サポート Web サイト (http://www.ibm.com/support/jp/ja/) に 進み、説明に従ってください。また、一部の資料は IBM Publications Center Web サイト (www.ibm.com/shop/publications/order/) から入手できます。IBM System x ツ ールおよび BladeCenter ツールの資料は、IBM ToolsCenter Web サイト (www.ibm.com/shop/publications/order/) で入手できます。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

この情報を使用して、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポート に関する最新情報を検索してください。

このタスクについて

WWW 上の IBM Web サイトには、IBM システム、オプション装置、サービス、 ツール、およびサポートに関する最新情報が記載されています。IBM System x に 関する情報のアドレスは、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ です。 IBM BladeCenter に関する情報のアドレスは、http://www-06.ibm.com/systems/jp/ bladecenter/ です。 IBM IntelliStation[®] に関する情報のアドレスは、 http://www-06.ibm.com/jp/products/workstations/intellistation/product/list.shtml です。

IBM のシステムおよびオプション装置に関するサービス情報は、 http://www.ibm.com/support/jp/ja/ にあります。

ソフトウェアのサービスおよびサポート

この情報を使用して、ご使用の IBM System x ツールおよび BladeCenter ツールに 関する疑問について、IBM のサービスおよびサポートに連絡します。

このタスクについて

IBM サポート・ラインを使用すると、System x サーバー、BladeCenter 製品、 IntelliStation ワークステーション、および装置の使用法、構成、およびソフトウェア の問題について、電話による援助を有料で受けることができます。使用する国また は地域で、サポート・ラインがサポートする製品について詳しくは、 http://www-935.ibm.com/services/jp/index.wss/offering/its/a1009397 をご覧ください。 サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、 www.ibm.com/services/ をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/partnerworld/ jp/ でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、 1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスおよびサポート

この連絡先情報を使用して、新規の機器をオーダーするか、IBM サービス・サポートを要求します。

このタスクについて

ハードウェアの保守は、IBM サービスか IBM 販売店を通じて受けることができま す (販売店が IBM から保証サービスを行う許可を得ている場合)。サポートの電話 番号については、www.ibm.com/planetwide/を参照してください。米国およびカナダ の場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

付録. IBM ToolsCenter SuiteToolsCenter Suite のアクセシビ リティー機能

アクセシビリティー機能は、運動障害または視覚障害などの障害を持つユーザーが 情報技術製品を快適に使用できるようにサポートします。

アクセシビリティー機能

以下は、ToolsCenter Suite の主なアクセシビリティー機能のリストです。

- キーボードのみを使用して操作できる
- 色に頼らずにすべての情報を伝える
- 代替出力デバイスの接続をサポートする
- アクセシビリティー・フォーマットのオンライン資料を提供する

IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter インフォメーション・センターの ToolsCenter Suite に関する一連のトピックとその関連資料は、アクセシビリティー に対応しており、次世代プラットフォームをサポートしています。

キーボード・ナビゲーション

本製品は、標準の Microsoft Windows ナビゲーション・キーを使用しています。

IBM とアクセシビリティー

アクセシビリティーに関する IBM のコミットメントについて詳しくは、IBM Human Ability and Accessibility Center Web サイト (www.ibm.com/able) を参照して ください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合 があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービス に言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能 であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を 侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用す ることができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの 評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む)を 保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実 施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わ せは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19番21号 日本アイ・ビー・エム株式会社 法務・知的財産 知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およ びその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供 し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべ ての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によって は、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を 受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的 に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随 時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を 行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Webサイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプロ グラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の 相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする 方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation MW9A/050 5600 Cottle Road San Jose, CA 95193 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができま すが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、 IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれ と同等の条項に基づいて、 IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定された ものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。 一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値 が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一 部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があ ります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要がありま す。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公 に利用可能なソースから入手したものです。 IBM は、それらの製品のテストは行 っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の 要求については確証できません。 IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それら の製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回 される場合があり、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。よ り具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品 などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであ り、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎませ ん。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示さ れない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それ ぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リスト については、 http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。 Adobe および Adobe ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国 における登録商標または商標です。

Intel は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標また は登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国にお ける商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

日本語,数字,英字,特殊文字の 順に配列されています。なお,濁 音と半濁音は清音と同等に扱われ ています。

[ア行]

アクション 44 アクセシビリティー キーボード 75 機能 75 ショートカット・キー 75 アクティベーション・キー管理 38 イベント・ログ情報 60 エネルギーおよびパフォーマンス 42,43, 44 オペレーティング・システム、サポートさ れている 4

[カ行]

解決、問題 69 概要 1 キーボード 75 機能、アクセシビリティー 75 更新 15 更新のダウンロード 29 「更新のダウンロード」の使用 29 構成 33 個別の更新 23 個別のファームウェアのダウンロード 31

[サ行]

サポート、連絡 69 サポートされているオペレーティング・シ ステム 4 サポートされているソフトウェア 4 サポートへの連絡 69 システム情報 57 システム・コンタクト 41 ショートカット・キー 75 商標 78 身体障害 75 新着情報 ix 推奨更新 17

[夕行]

特記事項 77 トラブルシューティング 69

[ハ行]

ブート順序 35 フル設定 47 フル・システム情報の収集 61,65

[マ行]

問題解決 69

[ヤ行] よく使用する設定 35

[**ラ行**] ライト・パス状況 58

В

BootOrder 54

IBM ToolsCenter Suite の開始 9 IBM ToolsCenter Suite ファイル 67 IMM 設定 50 IMM ユーザー・アカウント 37 iSCSI 設定 51

L

Linux 5

Μ

M4 マシン・タイプ 43

S

SYSTEM_PROD_DATA 設定 49

T

ToolsCenter Suite 新機能 ix ダウンロード 7 ToolsCenter Suite のダウンロード 7 ToolsCenter Suite レポート 65

U

uEFI 設定 53 UXSP 更新 17 UXSP のダウンロード 29

V

v9.30 での新機能 ix

W

Wake on LAN ブート順序 35 Web リソース vii Windows 4



Printed in Japan